

# データヘルス計画（第2期） 年次報告書

---

[ 令和5年度 ]

最終更新日：令和 6 年 06 月 04 日

デサント健康保険組合

# STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	63287
組合名称	デサント健康保険組合
形態	単一
業種	その他の製造業

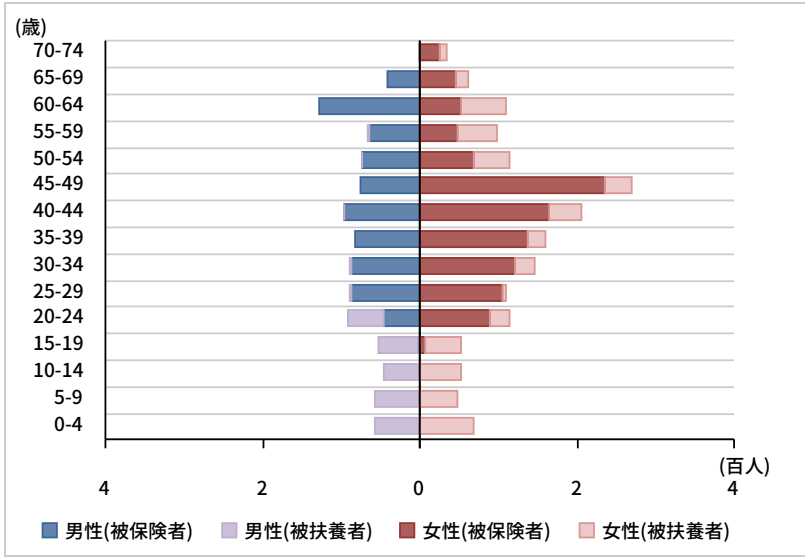
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	2,046名 男性34.7% (平均年齢44.42歳) * 女性65.3% (平均年齢44.61歳) *	1,894名 男性34.2% (平均年齢43.2歳) * 女性65.8% (平均年齢44.6歳) *	1,716名 男性34.6% (平均年齢44.8歳) * 女性65.4% (平均年齢44.3歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	0名
加入者数	3,052名	2,944名	2,478名
適用事業所数	8カ所	7カ所	6カ所
対象となる拠点数	16カ所	15カ所	6カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	100%o	100%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	0	0
	保健師等	0	0	0	0	0	0
事業主	産業医	0	4	0	4	0	7
	保健師等	4	0	4	0	4	0

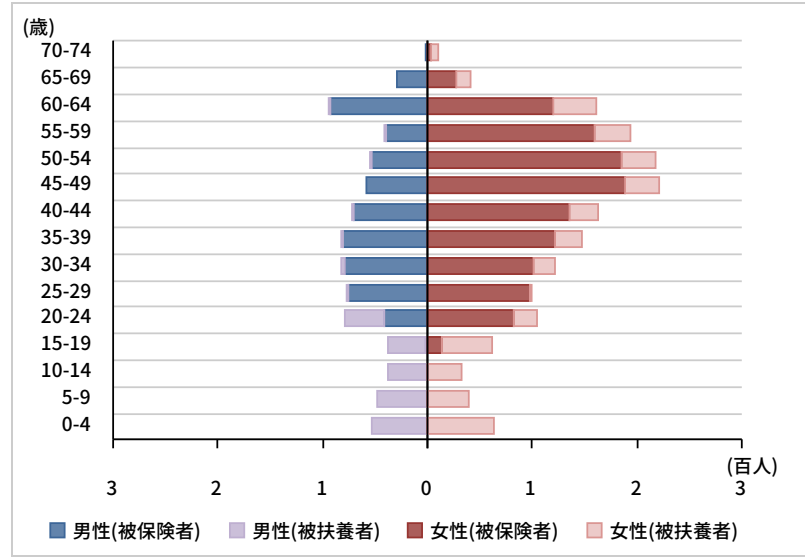
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,498 / 1,629 = 92.0 %	
	被保険者	1,311 / 1,326 = 98.9 %	
	被扶養者	187 / 303 = 61.7 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	5 / 166 = 3.0 %	
	被保険者	5 / 157 = 3.2 %	
	被扶養者	0 / 9 = 0.0 %	

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	920	450	1,000	528	1,000	583
	特定保健指導事業費	1,427	697	1,134	599	1,134	661
	保健指導宣伝費	396	194	1,496	790	418	244
	疾病予防費	27,939	13,655	29,420	15,533	29,916	17,434
	体育奨励費	0	0	0	0	0	0
	直営保養所費	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	小計 …a	30,682	14,996	33,050	17,450	32,468	18,921
	経常支出合計 …b	851,846	416,347	804,168	424,587	905,795	527,853
	a/b×100 (%)	3.60		4.11		3.58	

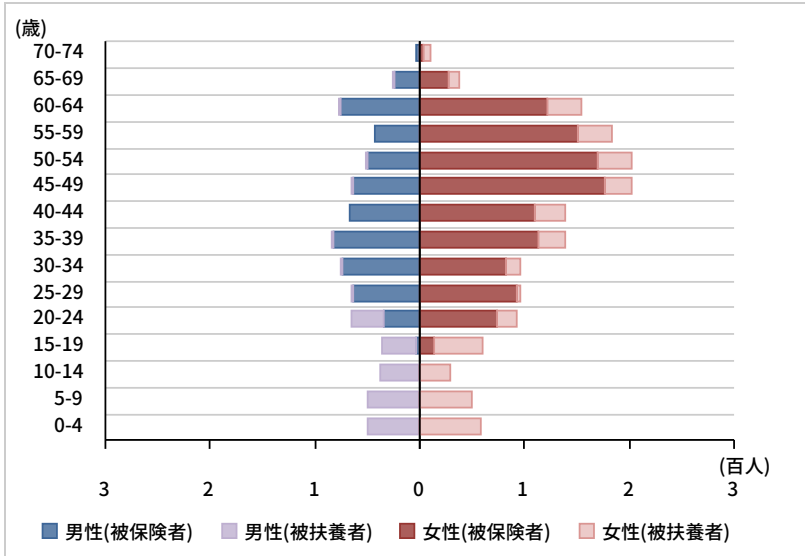
令和3年度



令和4年度



令和5年度



## 男性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	0人	15～19	2人	10～14	0人	15～19	3人
20～24	45人	25～29	88人	20～24	42人	25～29	75人	20～24	34人	25～29	63人
30～34	87人	35～39	83人	30～34	79人	35～39	81人	30～34	74人	35～39	83人
40～44	97人	45～49	76人	40～44	70人	45～49	58人	40～44	67人	45～49	64人
50～54	74人	55～59	63人	50～54	54人	55～59	39人	50～54	49人	55～59	43人
60～64	127人	65～69	42人	60～64	92人	65～69	29人	60～64	75人	65～69	24人
70～74	1人			70～74	2人			70～74	4人		

## 女性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	6人	10～14	0人	15～19	13人	10～14	0人	15～19	13人
20～24	88人	25～29	105人	20～24	82人	25～29	97人	20～24	74人	25～29	92人
30～34	120人	35～39	136人	30～34	101人	35～39	122人	30～34	83人	35～39	113人
40～44	164人	45～49	235人	40～44	136人	45～49	189人	40～44	109人	45～49	176人
50～54	68人	55～59	48人	50～54	185人	55～59	159人	50～54	170人	55～59	150人
60～64	52人	65～69	46人	60～64	120人	65～69	27人	60～64	122人	65～69	27人
70～74	24人			70～74	4人			70～74	4人		

## 男性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	57人	5～9	58人	0～4	54人	5～9	48人	0～4	49人	5～9	49人
10～14	45人	15～19	51人	10～14	38人	15～19	36人	10～14	37人	15～19	33人
20～24	46人	25～29	2人	20～24	37人	25～29	2人	20～24	31人	25～29	2人
30～34	2人	35～39	0人	30～34	3人	35～39	2人	30～34	2人	35～39	1人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	1人	45～49	0人	40～44	0人	45～49	1人
50～54	1人	55～59	2人	50～54	1人	55～59	2人	50～54	1人	55～59	0人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	1人	65～69	0人	60～64	1人	65～69	1人
70～74	1人			70～74	0人			70～74	0人		

## 女性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	68人	5～9	48人	0～4	63人	5～9	39人	0～4	59人	5～9	49人
10～14	52人	15～19	46人	10～14	32人	15～19	48人	10～14	29人	15～19	46人
20～24	24人	25～29	4人	20～24	22人	25～29	1人	20～24	19人	25～29	3人
30～34	26人	35～39	22人	30～34	20人	35～39	25人	30～34	13人	35～39	25人
40～44	41人	45～49	35人	40～44	28人	45～49	33人	40～44	29人	45～49	26人
50～54	46人	55～59	51人	50～54	33人	55～59	35人	50～54	32人	55～59	32人
60～64	56人	65～69	17人	60～64	41人	65～69	13人	60～64	32人	65～69	10人
70～74	8人			70～74	7人			70～74	6人		

### 基本情報から見える特徴

- 年齢別加入者数については、12月末現在の人数を使用。
- 他業種と比較すると女性の割合が多く、40～50代が約6割を占めている。
- 扶養率は0.36と低い。
- 販売員の拠点が全国にあり加入者が点在している。

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

#### 事業の一覧

##### 職場環境の整備

##### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	ホームページ
疾病予防	健康増進事業（ICTを利用した運動習慣）
疾病予防	ジェネリック差額通知
疾病予防	健康相談・指導

##### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	医療費通知
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	りぼん健診

##### 事業主の取組

1	定期健康診断※1
2	生活習慣病健診及びがん検診
3	生活習慣病健診及びがん検診2
4	生活習慣病健診及びがん検診3
5	海外赴任前及び帰国時健診
6	PM検診
7	雇い入れ健診
8	特殊健診
9	産業医面談
10	就業判定
11	問診票チェックによる疲労度および面談希望の確認
12	健康診断後措置に伴う個別指導（※特定保健指導を含む）
13	復職支援
14	帰国時面談
15	メンタルヘルス
16	労働衛生教育
17	感染症予防
18	感染症予防2
19	社外広報活動

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導 宣伝 疾病予防	2,5	ホームページ	令和4年2月リニューアル。 健康保険組合からのお知らせ情報の発信及び、健康情報の提供（動画セミナー等）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	418	-	-	-	-
	2,5	健康増進事業（ICTを利用した運動習慣）	ICTを利用した運動習慣の促進、意識付け。 kencomを利用し、事業主とコラボのイベント開催にてコミュニケーション強化。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	860	年2回(春・秋)、事業主、労働組合と共同でkencomによる、ある活イベント実施。	運動習慣に重点を置き、全被保険者、被扶養者(19歳以上)に参加を促す。店舗の販売員も参加し、平均歩数によりインセンティブ付与。	-	-
	8	ジェネリック差額通知	後発医薬品の使用促進。 慢性疾患対象者へ差額通知を送付し利用促進を促す。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	基準該当者	6	-	-	-	-
	5,6	健康相談・指導	生活習慣病予防としての食習慣の改善、意識付け指導。	被保険者	一部の事業所	男女	18 ～ 74	基準該当者	1,100	-	-	-	-
個別の事業													
特定健康 診査事業	3	特定健康診査	40歳以上74歳の被扶養者・任意継続者を対象に実施。 提携医療機関及び、健保連集合契約を利用。	被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	全員	1,000	-	-	-	-
特定保健 指導事業	4	特定保健指導	生活習慣の改善が必要で、改善意思決定の支援を要する者 に対して指導。 事業主の健康管理室所属の保健師の協力を得て実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者	1,133	-	-	-	-
疾病 予防	3	生活習慣病健診	30歳以上の被保険者を対象とし希望者に実施 節目年齢（40,45,50,55歳）対象者は節目健診として事業主 負担で実施	被保険者	全て	男女	30 ～ 74	全員	16,800	-	-	-	-
	3	人間ドック	30歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施。 費用の7割を補助金として支給（補助上限45,000円）。	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～ 74	全員	4,550	-	-	-	-
	3	医療費通知	医療費の適正化を目的とし通知。 年1回（2月）に送付。確定申告の医療費控除に対応。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	150	-	-	-	-
	3	インフルエンザ予防接種補助金	被保険者・被扶養者を対象とし、1年間に一度のみ補助。 【補助金額】 ・被保険者：2,000円 ・被扶養者：1,000円	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	2,200	-	-	-	-
	3	りぼん健診	乳がん・子宮頸がん健診。 30歳以上の女性被保険者（任継続く）に実施。（費用負担は、健保と事業主にて比率按分。） 30歳以下の被保険者（被扶養者）は、費用の7割を補助。 （補助上限30,000円）	被保険者 被扶養者	全て	女性	0 ～ 74	全員	4,250	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
注1)	1.	職場環境の整備	2. 加入者への意識づけ	3. 健康診査	4. 保健指導	5. 健康教育	6. 健康相談	7. 訪問指導	8. その他				
注2)	1.	39%以下	2. 40%以上	3. 60%以上	4. 80%以上	5. 100%							


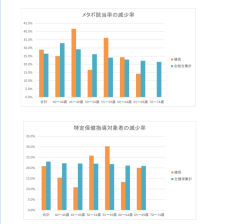
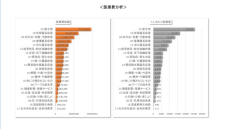

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
<b>事業主の取組</b>								
定期健康診断※1	安全衛生法に基づき実施	被保険者	男女	18～64				有
生活習慣病健診及びがん検診	生活習慣病健診、がん検診の実施 (胃、大腸、前立腺、卵巣がん) 動脈硬化の予防(眼底)	被保険者	男女	18～64	節目健診(40、45、50、55)開始			有
生活習慣病健診及びがん検診2	なでしこ健診※2 (※1との併用)	被保険者	女性	18～64	30歳以上の全従業員の婦人科健診(子宮・乳)を実施			有
生活習慣病健診及びがん検診3	りぼん健診	被保険者	女性	18～64				有
海外赴任前及び帰国時健診	人事命令に基づき都度実施	被保険者	男女	18～64				無
PM検診	海外駐在員及び帯同家族の健康診断	被保険者 被扶養者	男女	0～64	中国駐在員及び帯同家族に対し呼吸機能+喀痰+腫瘍マーカー(CEA)検査を追加し費用は会社負担とする。			無
雇い入れ健診	雇用時都度実施	被保険者	男女	18～64				無
特殊健診	安全衛生法に基づき実施	被保険者	男女	18～64				無
産業医面談	安全衛生法に基づく産業医職務	被保険者	男女	18～64				無
就業判定	就業判定基準値に基づき実施	被保険者	男女	18～64				無
問診票チェックによる疲労度および面談希望の確認	安全衛生法に基づく過重労働による健康障害の防止	被保険者	男女	18～64				無
健康診断後措置に伴う個別指導(※特定保健指導を含む)	要精密検査、要治療者の検査及び治療結果の把握、生活習慣病指導 ※特定保健指導含む	被保険者	男女	18～64	東京大阪オフィスの産業医面談および工場、営業所WEB面談、保健師巡回による面談、レター通知や電話面談など			有
復職支援	安全衛生法に基づき都度実施	被保険者	男女	18～64	産業医来社日に合わせ復帰面談を実施 支店/営業所や工場はWEB、状況により電話面談を実施 ～産業医意見書をもとに復帰可否、就業内容などを決定する 復帰後も定期的に面談を実施して状況を確認し継続的にフォローする			無
帰国時面談	海外駐在員(希望があれば帯同家族)への面談実施	被保険者 被扶養者	男女	0～64				無
メンタルヘルス	セルフケア及びラインケア (※ラインケアは管理職)	被保険者	男女	18～64	ストレスチェック実施 東産産業医によるセルフケア研修実施 管理職を対象としたメンタル研修の実施(10月)			無
労働衛生教育	雇い入れ(障害者雇い入れ)時に産業医面談を実施	被保険者	男女	18～64	4月全社安全衛生委員会実施			無



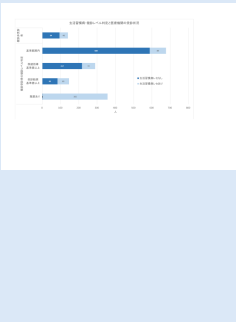
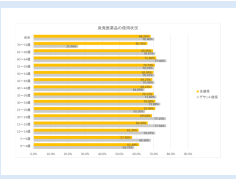
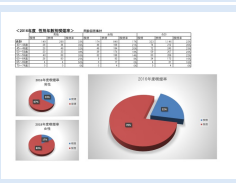


事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
感染症予防	予防接種（抗体検査含む）の実施	被保険者 被扶養者	男女	0 ～ 64	-	-	-	有
感染症予防2	手指消毒液の常設	被保険者	男女	18 ～ 64	-	-	-	無
社外広報活動	近隣大学による講演会	被保険者 被扶養者	男女	- ～ -	5/19 健康管理業務の取組み紹介とPR活動	-	-	無

## STEP 1-3 基本分析

### 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診受診率比較	特定健診分析	被保険者は96.9% 被扶養者は64.0%（任継除く）といずれも全組合集計を上回る受診率をキープ。合計でも91.3%で全組合集計を15%上回る。厚労省の指標（単一健保90%以上）もクリア。
イ		メタボ該当者と保健指導対象者の減少率	特定健診分析	メタボ減少率は45歳～、55歳～で高くなっているが、40歳～、50歳～では全健保集計を下回る。 特定保健指導の対象者減少率は50歳～、55歳～で高くなっているが、40歳～、45歳～で全健保集計を下回る。 保健指導実施率が低い。 生活習慣病のリスク保有者への対策を行っていない。 受診勧奨者が服薬に移行しているか確認できていない。
ウ		医療費分析	医療費・患者数分析	「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。
エ		医療費全健保比較	医療費・患者数分析	「新生物」「内分泌・栄養・代謝系疾患」「消化器系疾患」「筋骨格系・結合組織疾患」が他の健保よりも一人当たり医療費が高い。特に「新生物」は他の健保の2倍近い。
オ		悪性新生物医療費分析	医療費・患者数分析	悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。特に「消化器」は3倍、「呼吸器・胸腔内臓器」は4倍と著しく他の健保を上回っている。

カ		生活習慣病に関わる一人当たり医療費	特定健診分析	生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。
キ		生活習慣・健診レベル判定分布	健康リスク分析	肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度 保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度
ク		生活習慣病リスクチャート	健康リスク分析	<p>&lt;重症化予防の対象者数の把握&gt; 生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数（63名）存在する。 高血圧症で内服治療中であつた血圧値が受診勧奨値以上の者（69名）と、糖尿病で内服治療中であつた血糖値が受診勧奨値以上の者（51名）が存在する。</p> <p>&lt;早期治療のための受診勧奨&gt; 受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数（83名）存在する。 3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者（114名）が存在する。</p>
ケ		後発医薬品の使用状況	後発医薬品分析	後発医薬品の使用割合は他の健保よりやや高い。
コ		喫煙率比較	特定健診分析	40歳以上の喫煙率は、男性33%、女性17% 合計で22%となり、前年とほぼ同じである。

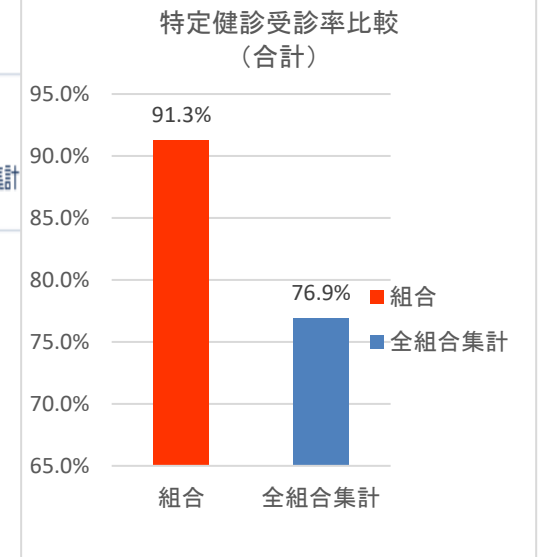
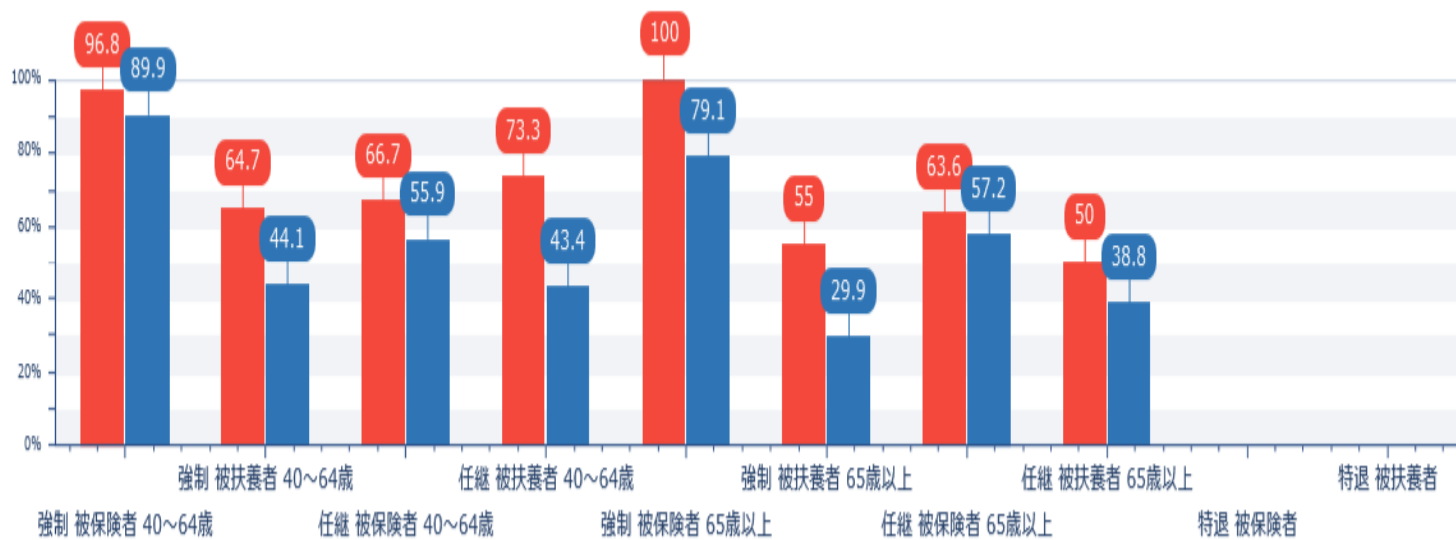
特定健診受診率 全体集計比較

健診実施年度	比較
2016	全組合計

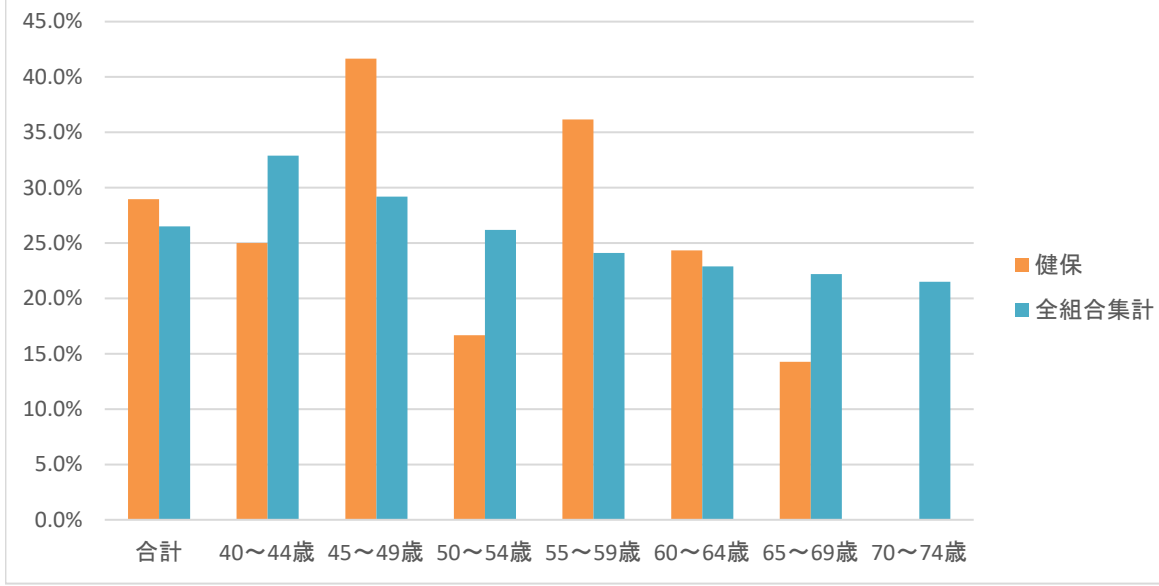
組合	強制			任繼		
	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者
年齢区分						
30～34歳	-	-	-	-	-	-
35～39歳	-	-	-	-	-	-
40歳未満合計	-	-	-	-	-	-
40～44歳	93.5%	97.4%	61.8%	-	-	-
45～49歳	91.6%	95.5%	69.2%	100.0%	-	100.0%
50～54歳	89.9%	96.7%	57.7%	100.0%	-	100.0%
55～59歳	91.5%	97.2%	68.4%	66.7%	50.0%	75.0%
60～64歳	92.0%	97.4%	62.9%	66.7%	69.2%	62.5%
65～69歳	75.8%	100.0%	46.7%	60.0%	63.6%	50.0%
70～74歳	80.0%	-	80.0%	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-
組合	91.3%	96.9%	64.0%	66.7%	65.4%	68.4%

全組合集計	強制			任繼		
	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者
年齢区分						
30～34歳	20.3%	23.0%	8.1%	7.8%	12.7%	1.8%
35～39歳	32.9%	37.8%	17.6%	15.1%	20.1%	7.4%
40歳未満合計	26.9%	30.6%	13.7%	11.3%	16.4%	4.3%
40～44歳	77.0%	89.3%	42.7%	40.4%	46.6%	26.1%
45～49歳	77.9%	90.2%	44.2%	43.0%	47.5%	33.0%
50～54歳	78.7%	90.6%	45.8%	45.6%	49.6%	41.0%
55～59歳	78.6%	90.2%	45.8%	48.3%	55.2%	44.7%
60～64歳	76.6%	88.6%	41.0%	52.6%	58.2%	44.6%
65～69歳	62.6%	81.3%	32.5%	53.6%	58.3%	39.7%
70～74歳	41.9%	69.2%	25.7%	42.9%	47.5%	30.9%
75歳以上	-	-	-	-	-	-
全組合集計	76.9%	89.5%	43.1%	51.1%	56.5%	42.3%

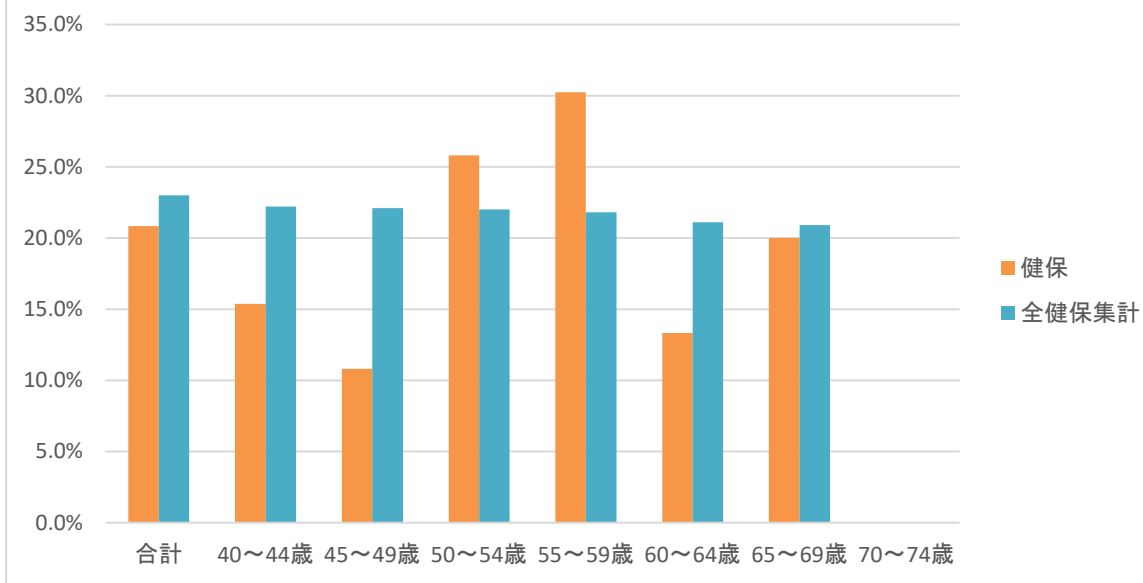
特定健診受診率(比較)



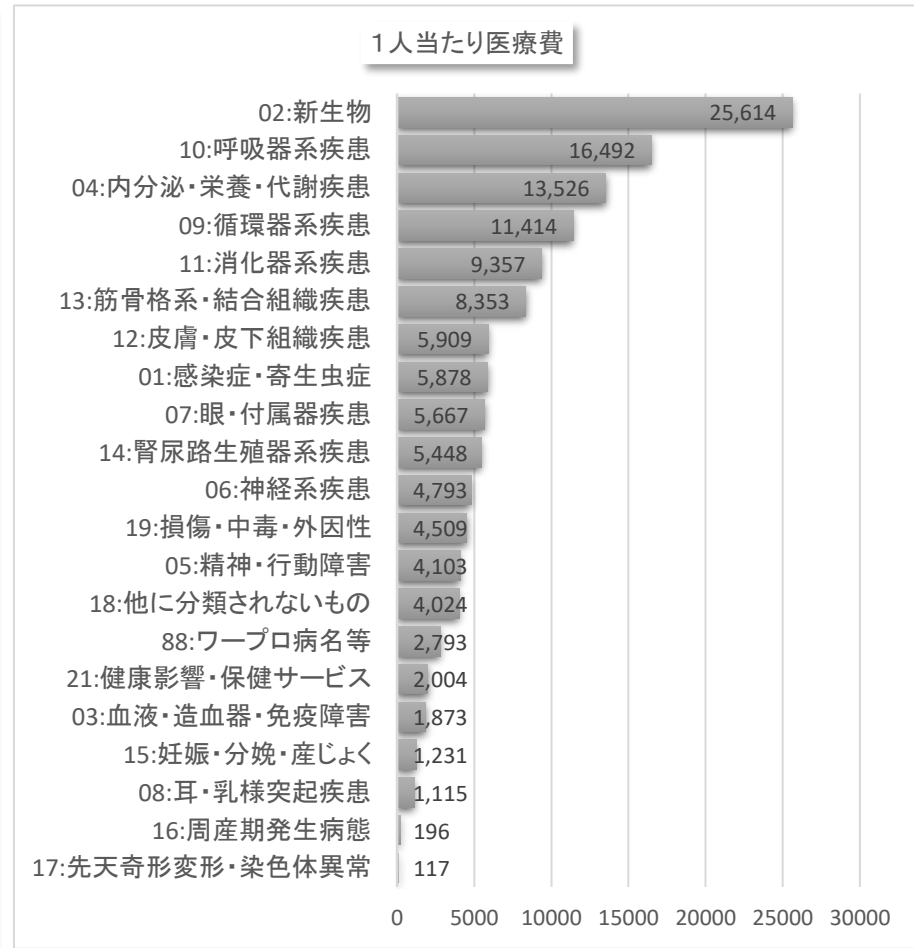
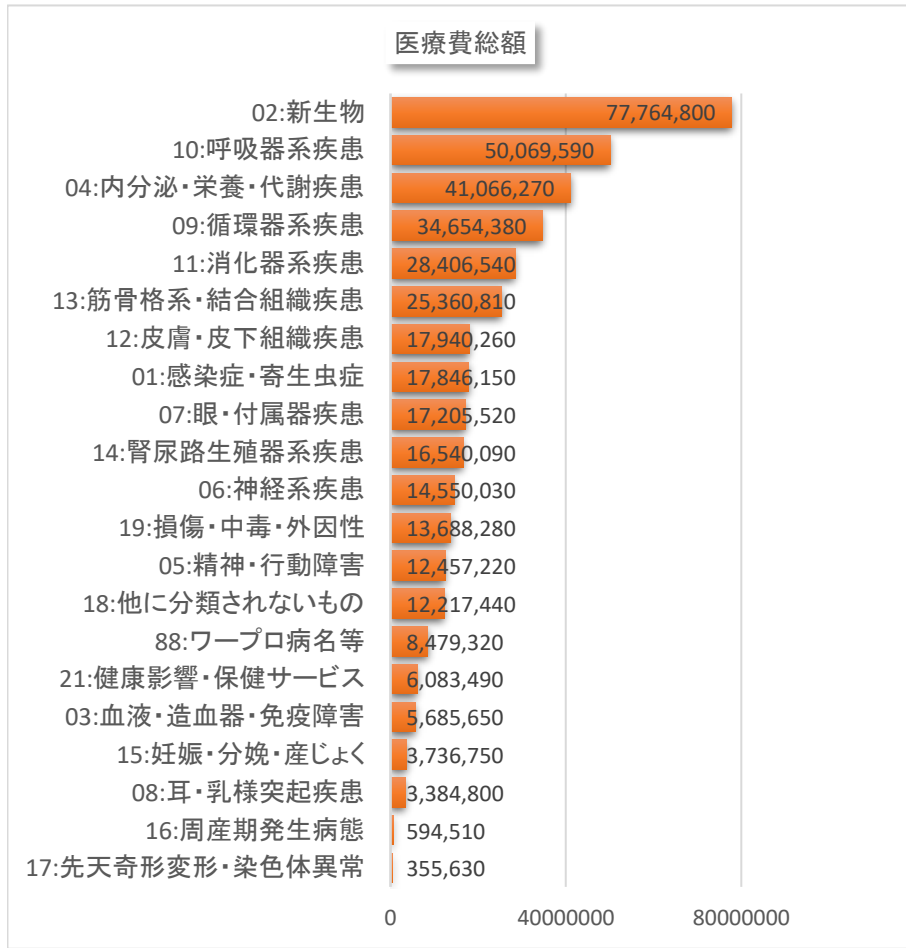
### メタボ該当率の減少率



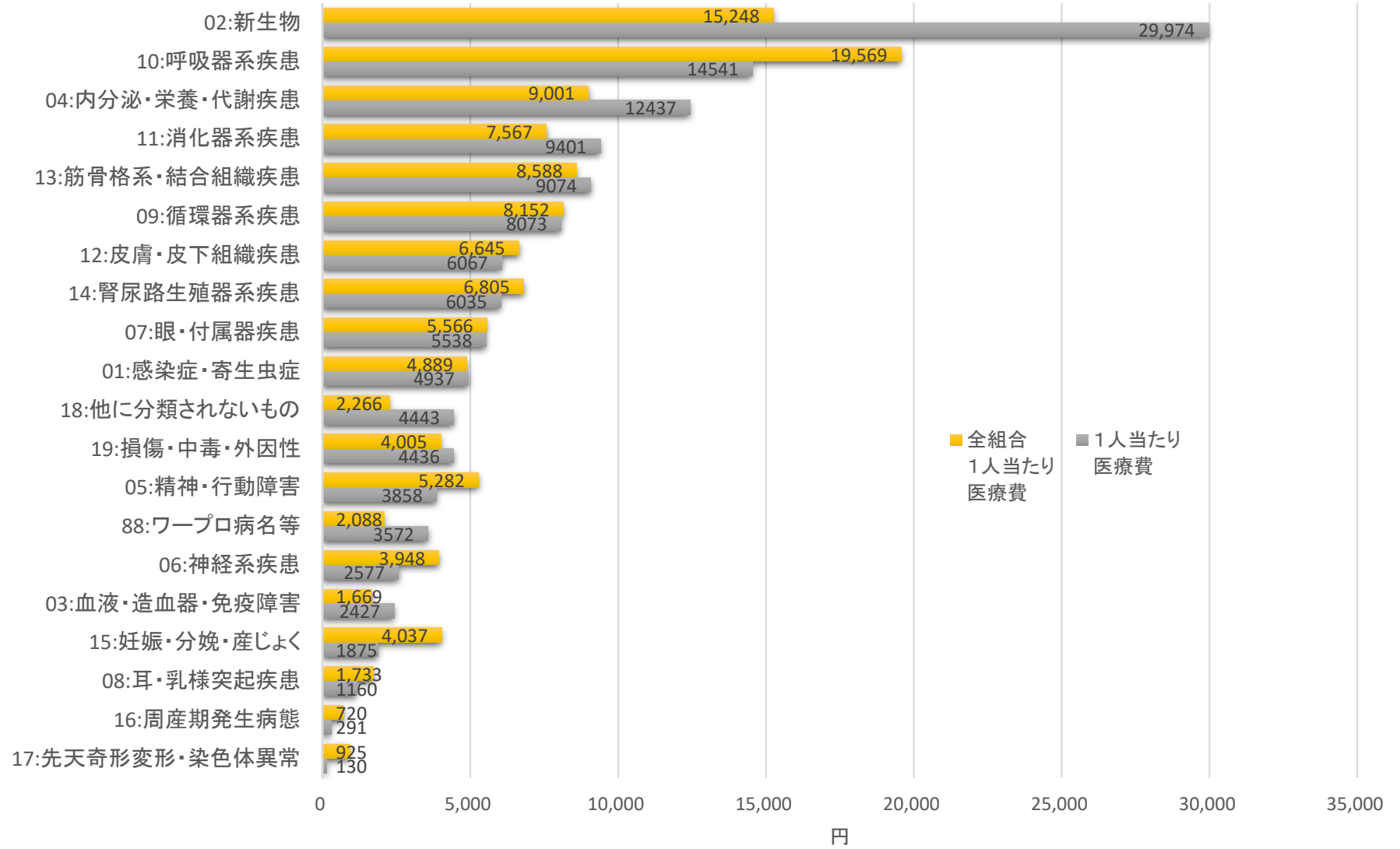
### 特定保健指導対象者の減少率



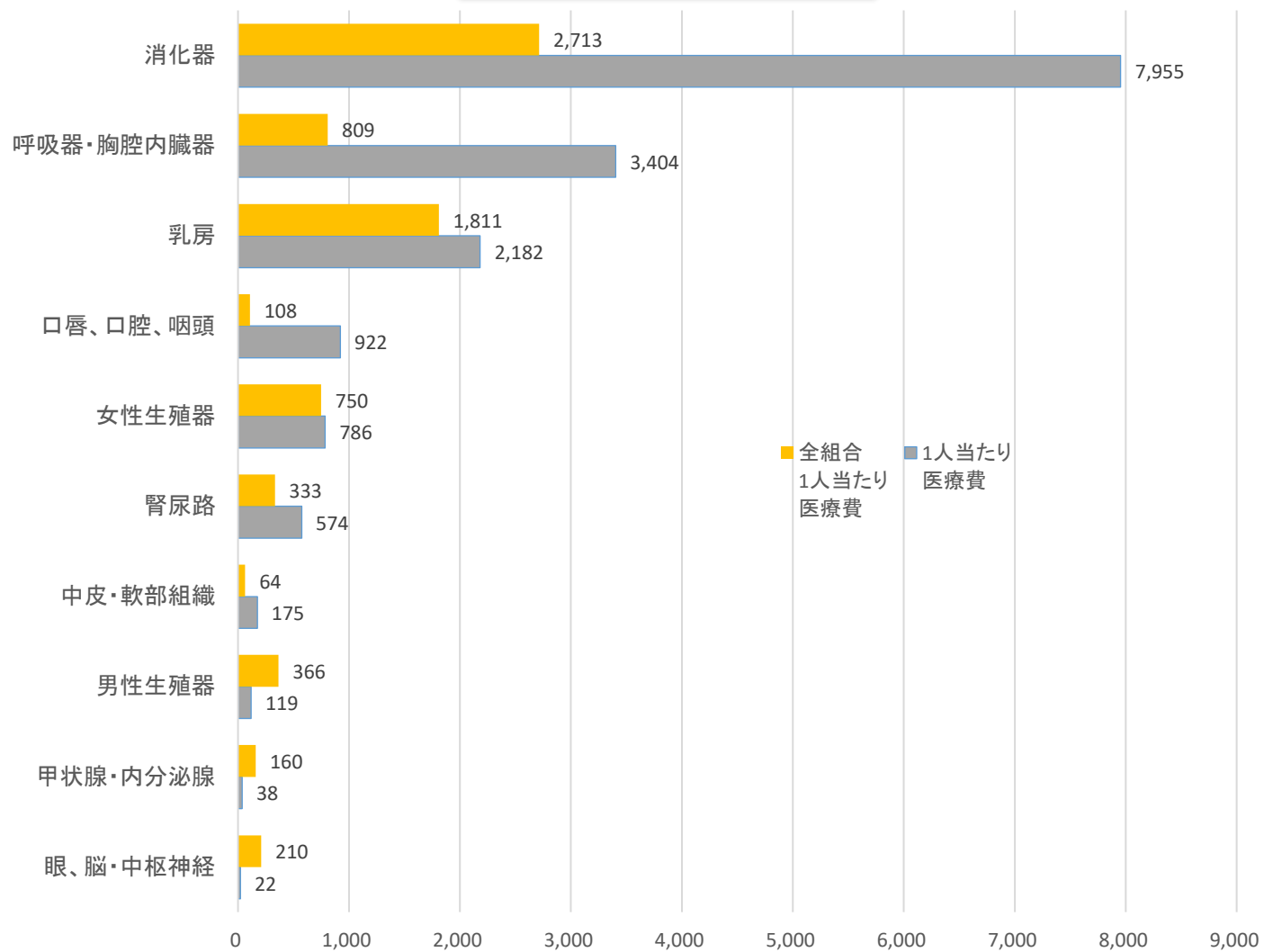
## ＜医療費分析＞



### 疾病別一人当たり医療費比較

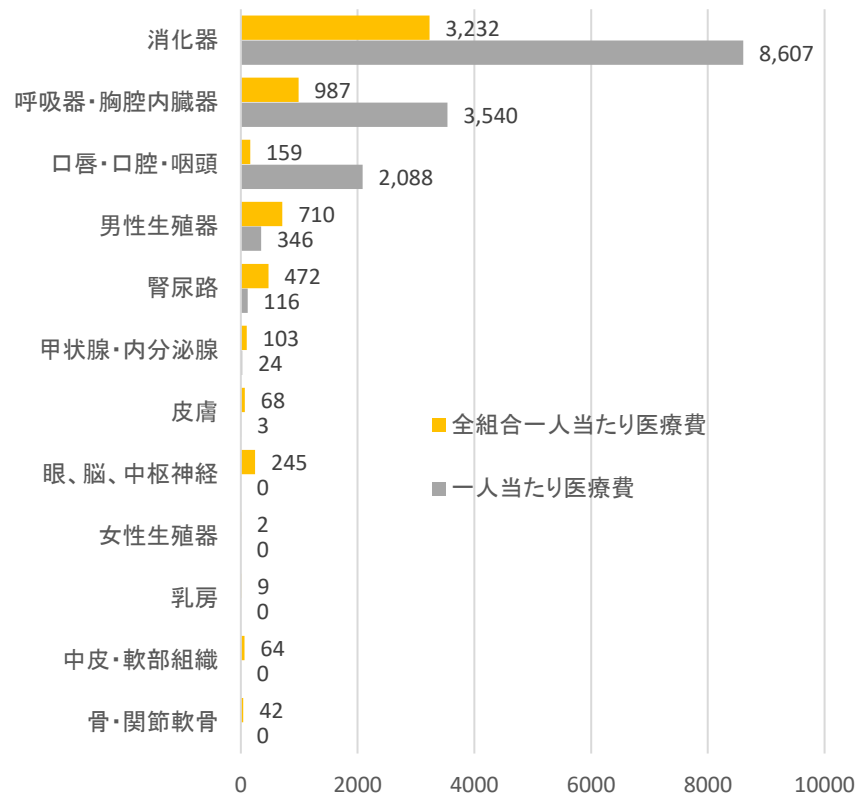


### 悪性新生物医療費比較分析

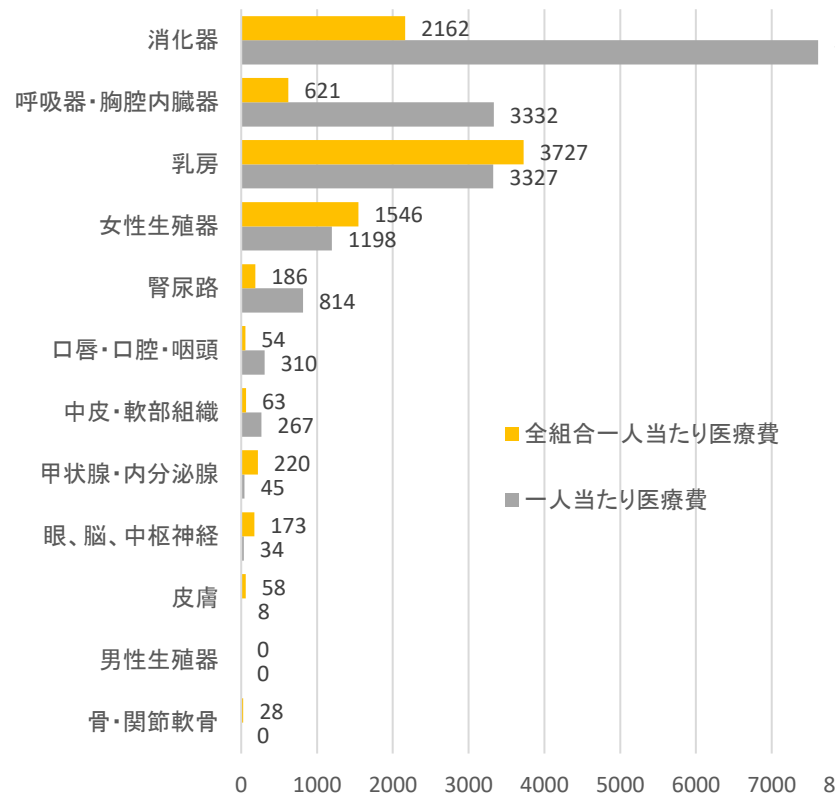




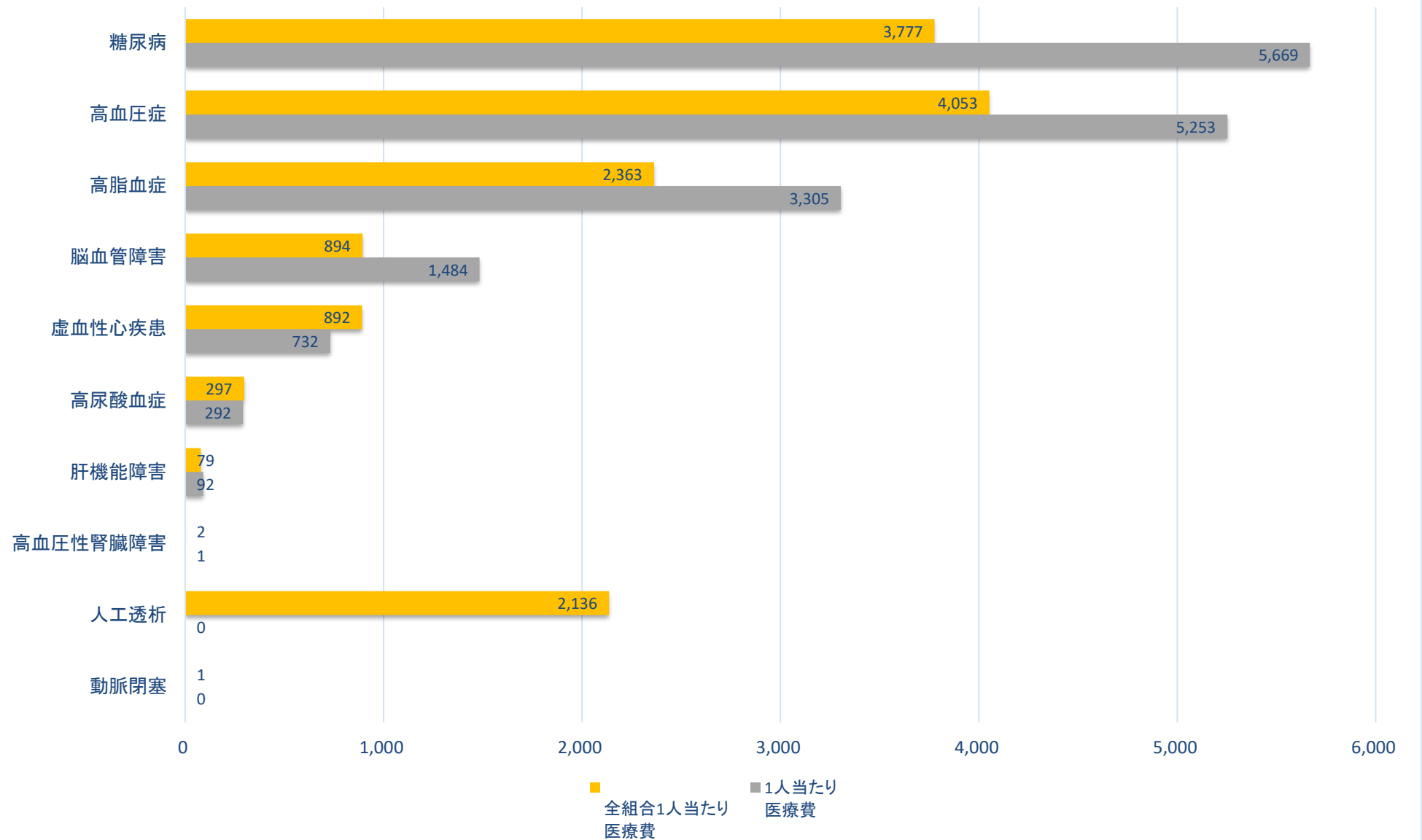
悪性新生物一人当たり医療費全組合比較  
【 男性 】



悪性新生物一人当たり医療費全組合比較  
【 女性 】

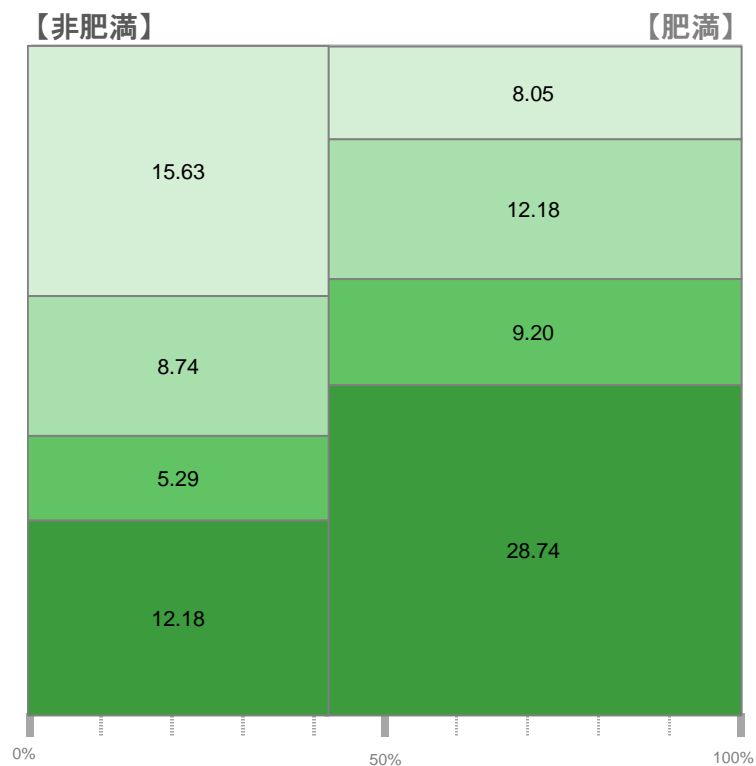


## 生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費



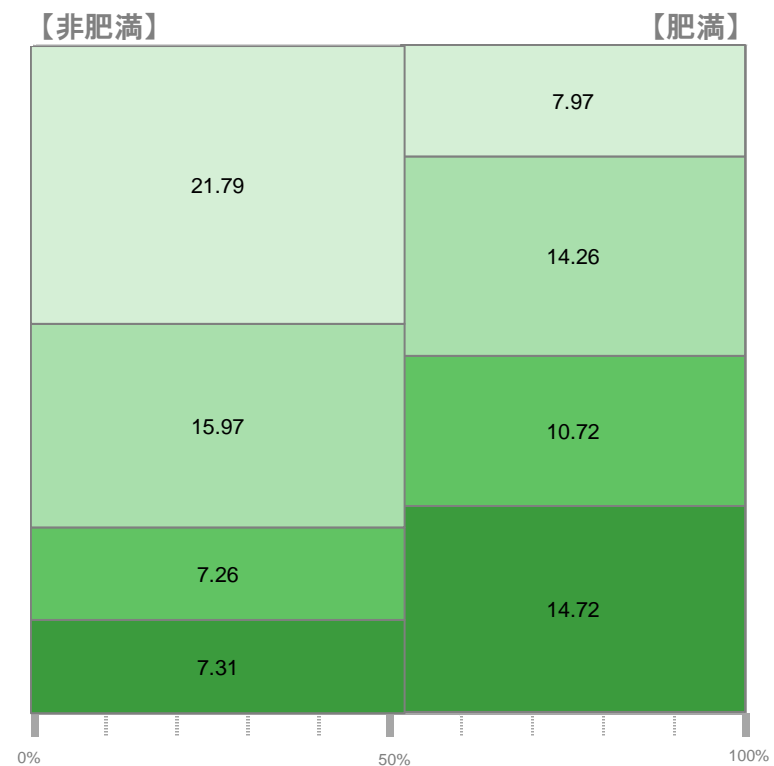
健康保険組合 健康分布図  
強制【男性】

2016年度	非肥満		肥満	
	人数	割合	人数	割合
基準範囲内	68	15.63	35	8.05
保健指導基準値以上	38	8.74	53	12.18
受診勧奨基準値以上	23	5.29	40	9.20
服薬投与	53	12.18	125	28.74
計 (人/%)	182	41.84	253	58.16



全組合計 健康分布図  
強制【男性】

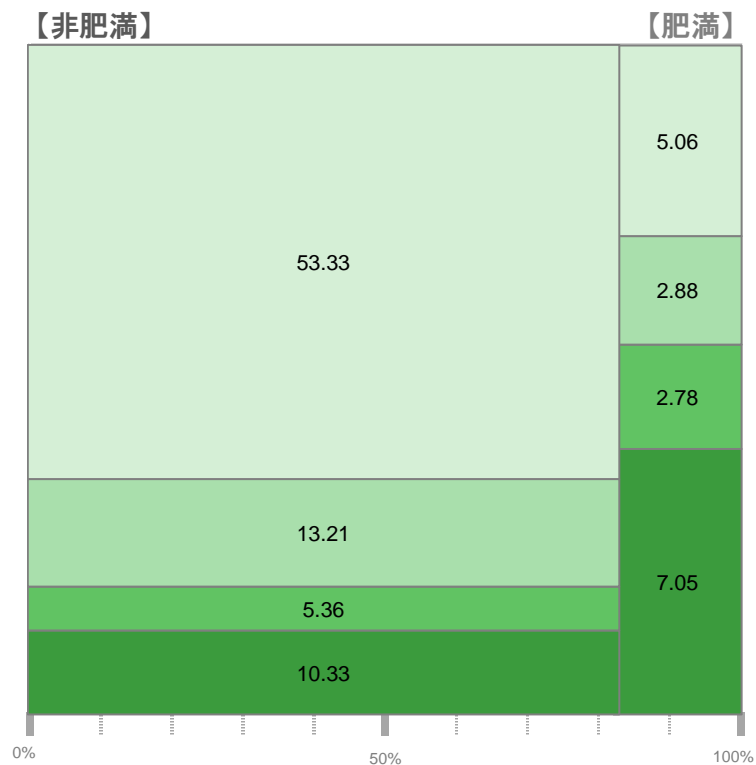
2016年度	非肥満		肥満	
	人数	割合	人数	割合
基準範囲内	887,935	21.79	324,812	7.97
保健指導基準値以上	650,738	15.97	580,998	14.26
受診勧奨基準値以上	295,656	7.26	436,896	10.72
服薬投与	297,884	7.31	599,694	14.72
計 (人/%)	2,132,213	52.33	1,942,400	47.67



健康保険組合 健康分布図  
強制【女性】

【女性】

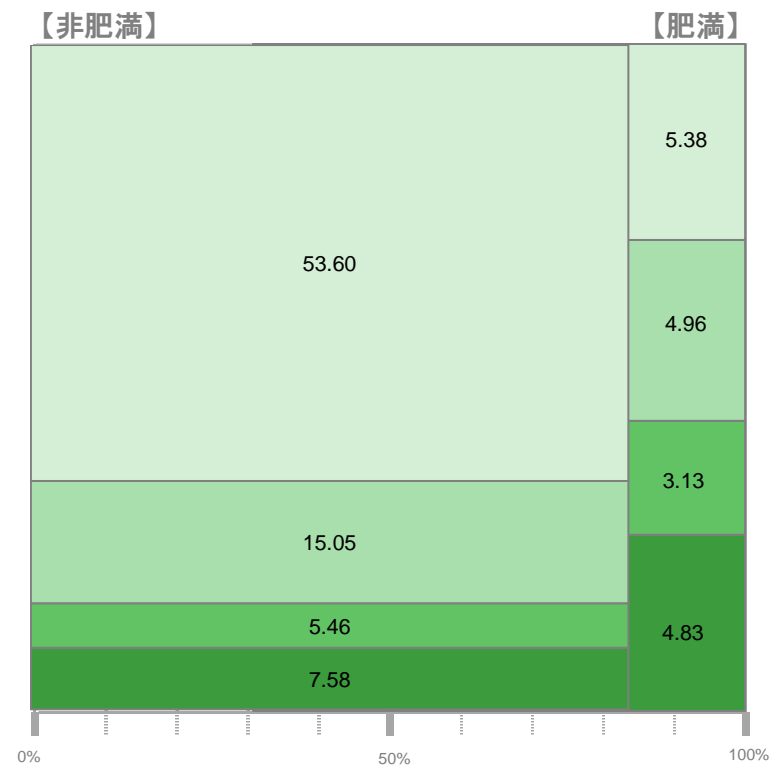
2016年度	非肥満		肥満	
	人数	割合	人数	割合
基準範囲内	537	53.33	51	5.06
保健指導基準値以上	133	13.21	29	2.88
受診勧奨基準値以上	54	5.36	28	2.78
服薬投与	104	10.33	71	7.05
計 (人/%)	828	82.22	179	17.78



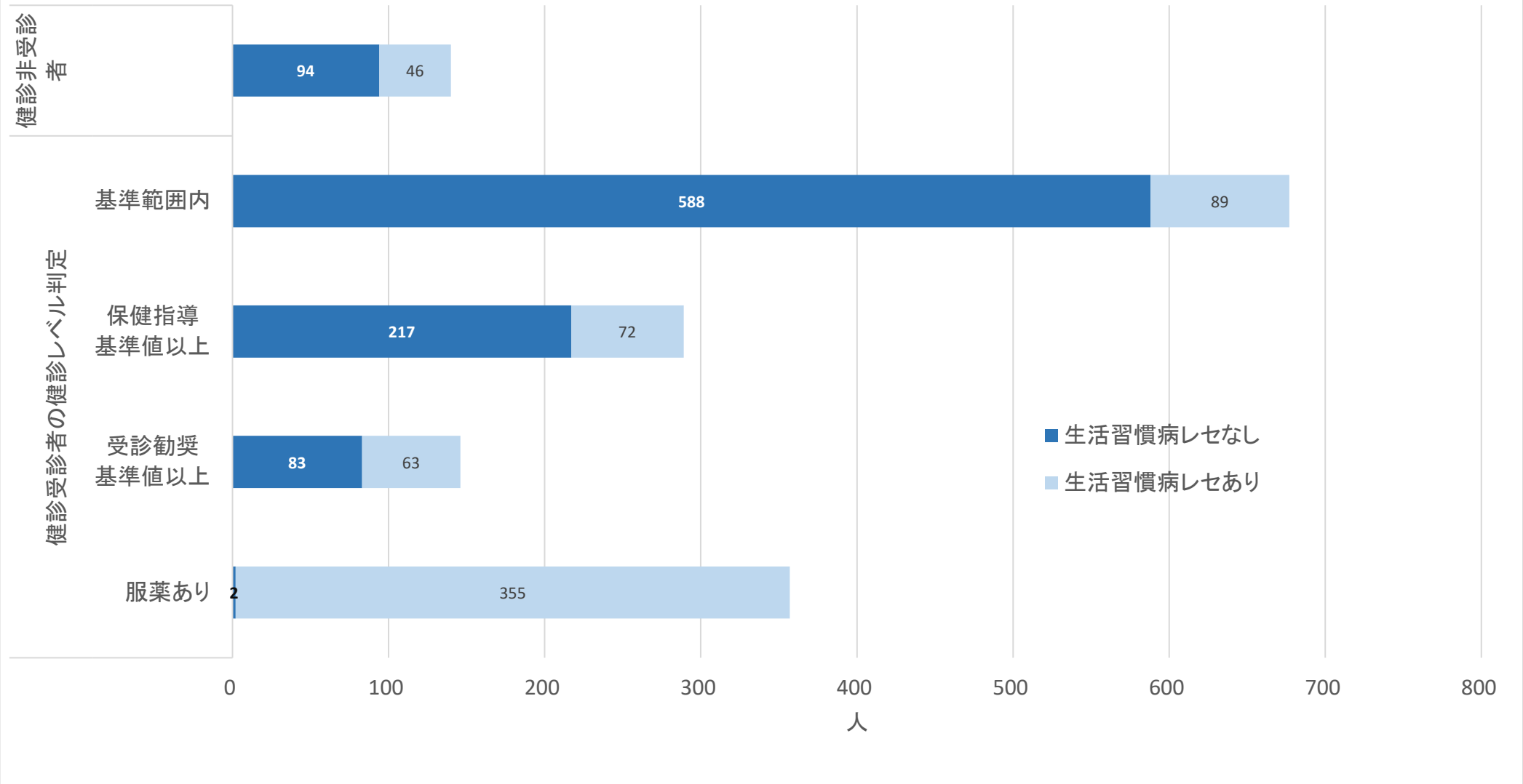
全組合計 健康分布図  
強制【女性】

【女性】

2016年度	非肥満		肥満	
	人数	割合	人数	割合
基準範囲内	1,355,328	53.60	135,958	5.38
保健指導基準値以上	380,604	15.05	125,454	4.96
受診勧奨基準値以上	138,181	5.46	79,167	3.13
服薬投与	191,763	7.58	122,218	4.83
計 (人/%)	2,065,876	81.70	462,797	18.30



生活習慣病・健診レベル判定と医療機関の受診状況



健診実施年度 2016	集計対象 強制	本人家族 本人家族計	事業所名
----------------	------------	---------------	------

HbA1c実施者数 1,402 人 実施率 95.44 %

\* 3疾患治療の服薬あり  
342 人 24.39 %

\* 3疾患治療の服薬なし  
1,060 人 75.61 %

\* 糖尿病治療の服薬なし  
271 人 79.24 %

\* 糖尿病治療の服薬あり  
71 人 20.76 %

HbA1c 6.5%以上  
10 人 0.94 %

HbA1c 6.4%以下  
1,050 人 99.06 %

特定保健指導終了者  
0 人 0.00 %

特定保健指導未実施者  
1,050 人 100.00 %

HbA1c 合計

HbA1c数値

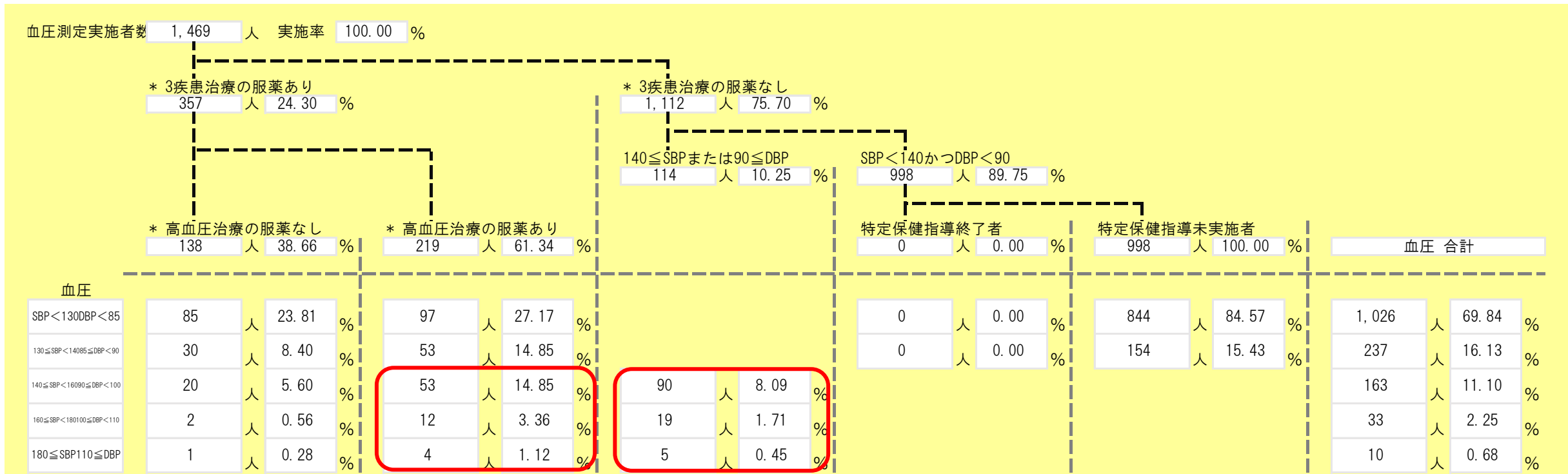
HbA1c数値	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
~5.5%	120	35.09 %	1	0.29 %	0	0.00 %	0	0.00 %	745	70.95 %	866	61.77 %
5.6~5.9%	94	27.49 %	2	0.58 %	0	0.00 %	0	0.00 %	261	24.86 %	357	25.46 %
6.0~6.4%	40	11.70 %	17	4.97 %	0	0.00 %	0	0.00 %	44	4.19 %	101	7.20 %
6.5~6.8%	11	3.22 %	15	4.39 %	6	0.57 %	0	0.00 %	0	0.00 %	32	2.28 %
6.9~7.3%	5	1.46 %	14	4.09 %	2	0.19 %	0	0.00 %	0	0.00 %	21	1.50 %
7.4%~	1	0.29 %	22	6.43 %	2	0.19 %	0	0.00 %	0	0.00 %	25	1.78 %
[再掲]8.4%~	0	0.00 %	7	2.05 %	1	0.09 %	0	0.00 %	0	0.00 %	8	0.57 %

\* 服薬あり/なしは、問診回答で判定

\* 3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す

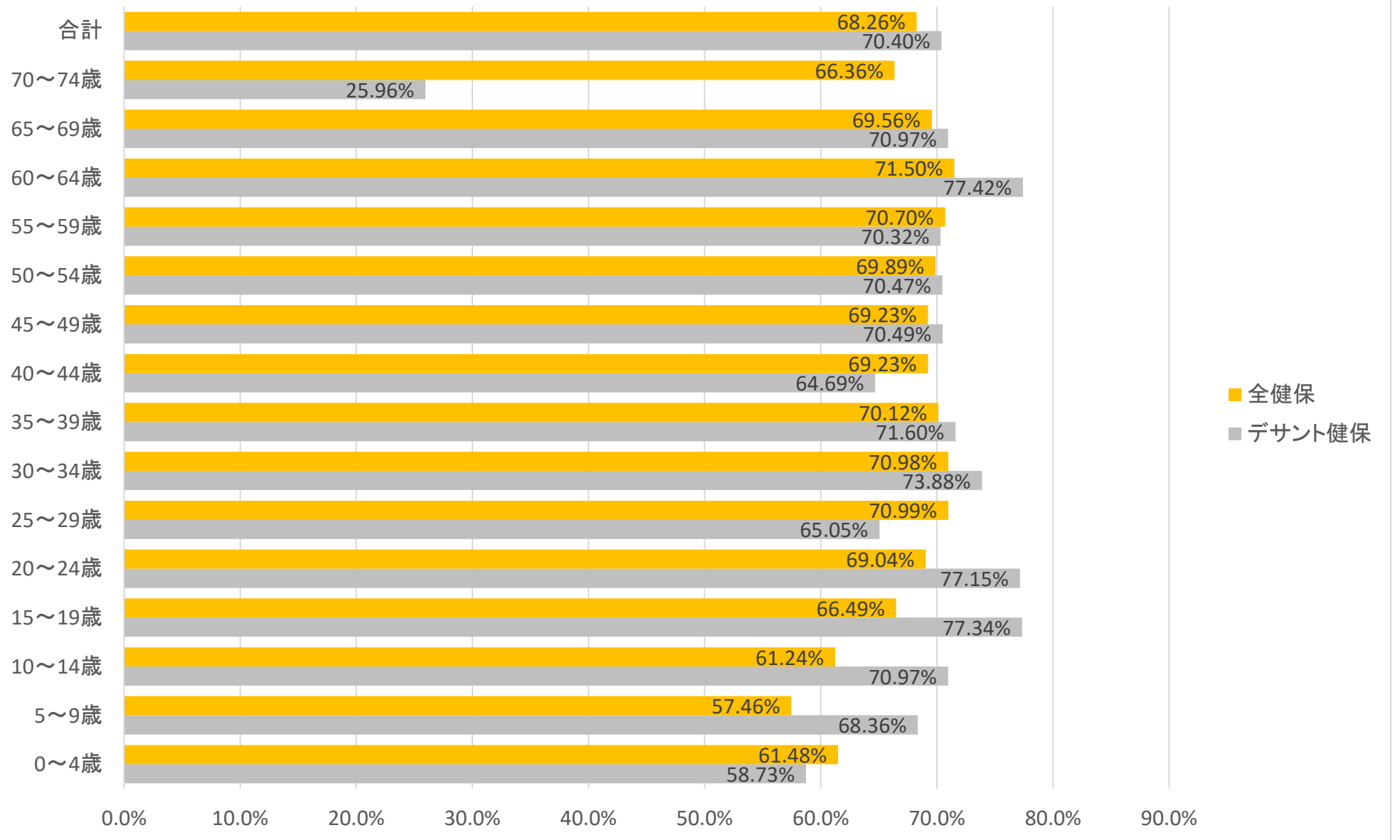
# 脳卒中/心筋梗塞・リスクフローチャート

健診実施年度	集計対象	本人家族	事業所名
2016	強制	本人家族計	



\* 服薬あり/なしは、問診回答で判定  
 \* 3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す

## 後発医薬品の使用状況



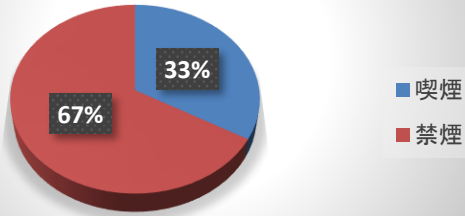


### <2016年度 性別年齢別喫煙率>

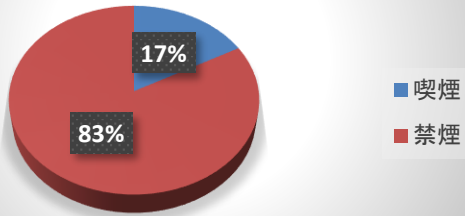
問診回答集計

	男性			女性			合計		
	喫煙	禁煙	喫煙率	喫煙	禁煙	喫煙率	喫煙	禁煙	喫煙率
合計	149	298	33%	174	848	17%	323	1,146	22%
40～44歳	28	44	39%	46	168	21%	74	212	26%
45～49歳	23	49	32%	49	194	20%	72	243	23%
50～54歳	20	33	38%	39	174	18%	59	207	22%
55～59歳	48	88	35%	32	198	14%	80	286	22%
60～64歳	26	80	25%	8	93	8%	34	173	16%
65～69歳	4	4	50%	0	17	0%	4	21	16%
70～74歳	0	0	0%	0	4	0%	0	4	0%

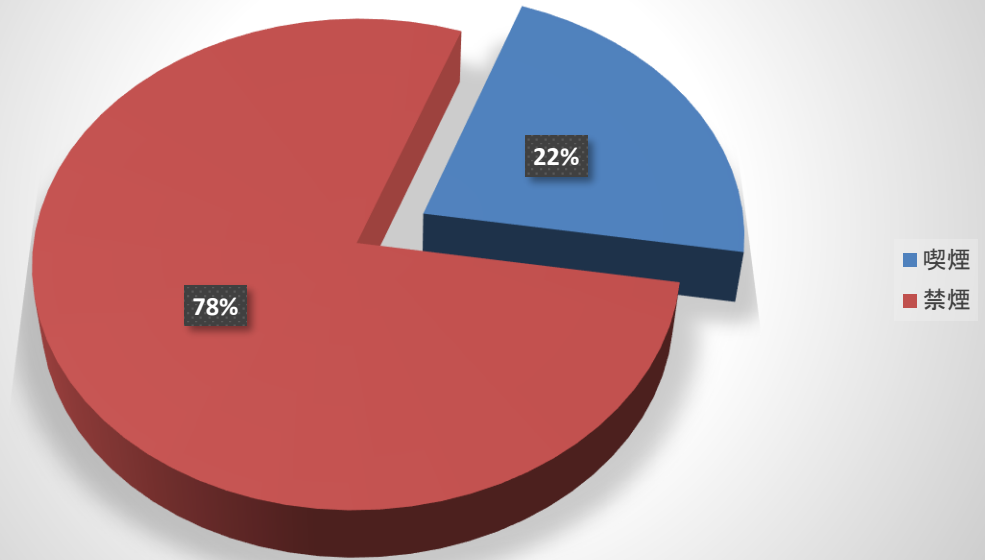
2016年度喫煙率  
男性



2018年度喫煙率  
女性



2016年度喫煙率



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア, イ	特定保健指導の対象者割合の減少率が低い 特定保健指導の実施率が低い	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主の保健師に依頼し実施している保健指導を基準通りに実績報告する。</li> <li>・特定保健指導を受けやすい職場環境や風土を作る。</li> </ul>	✓
2	ウ, エ, オ	<p>「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。</p> <p>・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪性新生物（がん）の早期発見、早期治療の健診体制を構築する</li> <li>・「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」は特定健診データからリスク者を特定できるため介入効果が期待される疾病として対策を講じていく。</li> </ul>	✓
3	カ, キ, ク	<p>生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合計よりもかなり高い。</p> <p>肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度</p> <p>保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度</p> <p>&lt;重症化予防の対象者数の把握&gt;</p> <p>生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数（63名）存在する。</p> <p>高血圧症で内服治療中かつ血圧値が受診勧奨値以上の者（69名）と、糖尿病で内服治療中かつ血糖値が受診勧奨値以上の者（51名）が存在する。</p> <p>&lt;早期治療のための受診勧奨&gt;</p> <p>受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数（83名）存在する。</p> <p>3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者（114名）が存在する。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタボリック症候群から派生する生活習慣病対策を講じる必要がある。</li> <li>・男性は肥満度が高く、食生活、運動習慣の改善をメインに対策が必要。</li> <li>・受診勧奨値以上の対象者（重症化予防と早期治療）へのアプローチも重要。</li> </ul>	✓
4	コ	40歳以上の喫煙率は、男性33%、女性17% 合計で22%となり、前年とほぼ同じである。	➔	事業所敷地内完全禁煙の環境を生かした禁煙への取り組みを強化する。40代前半の喫煙率が高い傾向にあるので、将来を見越した禁煙対策を講じる必要がある。まずは、啓蒙活動からスタートする。	
5	ケ	後発医薬品の使用割合は他の健保よりやや高いが、厚労省が示す指標（80%）には届いていない。	➔	ジェネリック差額通知の送付。	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○販売員、工場勤務者の女性の割合が多く（65%）、さらに40～50代がそのうちの約6割を占めている。</li> <li>○男性は55歳～、60歳～の人口比率が高くピラミッドがいびつである。</li> <li>○扶養率は0.36と低い。</li> </ul>	➔	女性の6割を占める40～50代のリスク保有者に対応するアプローチ、男性の生活習慣病リスク保有者に対するアプローチを含め事業主とのコラボが重要になる。健診強化も重点を絞る。

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予防可能な疾病を未然に防ぎ、病気の予防、健康の保持増進を図ることを基本としている</li><li>・ 疾病予防を中心とした事業運営にシフトしている。</li><li>・ 特に、コラボヘルスとして各種がん検診を充実させている。</li></ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特定保健指導を会社の保健師に依頼し、実施率アップに向けた体制を構築</li><li>・ 健診体制の変更による被扶養者の受診状況の確認と被扶養者への特定保健指導の実施強化</li></ul>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

- ・悪性新生物の早期発見、早期治療で一人当たり医療費低減を目的とする。
- ・生活習慣病の重症化予防、早期治療の受診勧奨で一人当たり医療費の削減。
- ・比較的高い男性の肥満割合の低減を目指す。

### 事業全体の目標

- ・被保険者の健診を強化・充実し疾病の早期発見、早期治療を目指す。
- ・被保険者（被扶養者）の健康保持増進と医療費の削減に繋げる。
- ・共同事業及び役割分担を明確化しコラボヘルスを定着化させる。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	健康教室の開催
--------	---------

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	後発医薬品の利用促進
疾病予防	健康増進事業（運動習慣）

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	要医療の者への受診勧奨・糖尿病等の重症化予防
保健指導宣伝	禁煙の推進
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	健康相談・指導
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	りぼん健診

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	注2)事業名	対象者				注3)実施主体	注4)プロセス分類	実施方法	注5)ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
職場環境の整備										アウトカム指標							
保健指導宣伝	2,5	既存	健康教室の開催	一部の事業所	男女	18～64	基準該当者	3	ク	健康管理室との共同実施	ア	-	外部委託しない	未定	今年度実施しない理由：費用対効果が見込めない	事業所特有の健康問題を洗い出し実施	生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度 保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度 <重症化予防の対象者数の把握> 生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数(63名)存在する。高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨値以上の者(69名)と、糖尿病で内服治療中でかつ血糖値が受診勧奨値以上の者(51名)が存在する。 <早期治療のための受診勧奨> 受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数(83名)存在する。3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者(114名)が存在する。
加入者への意識づけ																	
保健指導宣伝	2	既存	機関紙発行	全て	男女	18～64	加入者全員	1	キ	-	ア	-	外部委託しない	年2回定期発行(春、秋)	今年度実施しない理由：ICTを活用	年2回の定期発行時に合わせた健康関連情報を掲載することにより、加入者の健康に対する意識の高揚を図る。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
保健指導宣伝	2,5	既存	ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,キ	-	ス	-	外部委託しない	418	定期的な健康情報の発信と制度改定等必要な情報をわかりやすく提供。	タイムリーな有益情報の発信と、各種申請書等の分かりやすい掲載内容で閲覧数を上げる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
保健指導宣伝	2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	年間1回(2月)	ス	-	外部委託しない	150	年間1回(2月)	・各自の医療費適正化の意識付けをする。・確定申告の簡略化。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
疾病予防	2,7	既存	後発医薬品の利用促進	全て	男女	20～74	加入者全員	1	キ,ク	後発医薬品差額通知を年1回(春頃)送付。現システムを利用して対象者を抽出。	ス	-	外部委託しない	6	年1回(春頃)差額通知を発信しジェネリック使用促進。	後発医薬品の使用率の向上	後発医薬品の使用割合は他の健保よりやや高いが、厚労省が示す指標(80%)には届いていない。
保健指導宣伝	1,2,5	既存	健康増進事業(運動習慣)	一部の事業所	男女	20～74	加入者全員	2	ア,ケ,シ	事業主・労組・健保組合と三位一体で主催する「ある活」を開催し、肥満、運動習慣の少ない対象者に参加を呼びかける。	ア,ス	-	外部委託しない	860	・年2回(春・秋)開催。・達成者には事業主・労組・健保からインセンティブ。	・運動習慣の少ない対象者に日常生活を通じて運動の機会を与える。・日頃接点の少ない販売員、工場勤務者も参加し一体感を保持し楽しみながら実施。	生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度 保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度 <重症化予防の対象者数の把握> 生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数(63名)存在する。高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨値以上の者(69名)と、糖尿病で内服治療中でかつ血糖値が受診勧奨値以上の者(51名)が存在する。 <早期治療のための受診勧奨> 受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数(83名)存在する。3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者(114名)が存在する。
個別の事業																	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標													アウトカム指標				
特定健康診査事業	1,4	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ス	集合契約によって医療機関の利便性向上を受診率アップにつなげる。	ス	-	外部委託しない	1,000	指定の医療機関プラス受診券の発行による健診によるシフト。受診状況の推移とその後の受診動向で被扶養者の受診率アップ。	特定健診受診率を70%まで上げる。	生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。 肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度 保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度 ＜重症化予防の対象者数の把握＞ 生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数(63名)存在する。 高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨値以上の者(69名)と、糖尿病で内服治療中でかつ血糖値が受診勧奨値以上の者(51名)が存在する。 ＜早期治療のための受診勧奨＞ 受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数(83名)存在する。 3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者(114名)が存在する。
受診率(【実績値】65% 【目標値】令和5年度：65%)被扶養者の健診実施の促進(受診率の向上)													利用人数(【実績値】178人 【目標値】令和5年度：100人)受診者の健康維持				
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	加入者全員	3	工,オ	被保険者：東阪健康管理室 保健師に委託(就業時間内に実施) 被扶養者：集合契約を利用し対象者に近隣医療機関での特定保健指導を促す。 事業主が導入したウェルネス健康管理システムの相互活用による特定保健指導の情報共有 特定保健指導対象者への健康冊子配布	ア,コ	-	外部委託しない	1,133	動機付け：30人 積極的：36人 合計：66人	特定保健指導実施率の向上と対象者の減少も目標とする。	特定保健指導の対象者割合の減少率が低い 特定保健指導の実施率が低い
実施人数(【実績値】3人 【目標値】令和5年度：66人)事業主保健師との連携													特定保健指導実施率(【実績値】1.2% 【目標値】令和5年度：63%)-				
保健指導宣伝	3,4	新規	要医療の者への受診勧奨・糖尿病等の重症化予防	母体企業	男女	20～74	被保険者	3	オ	保健師からの健診面談を利用して、対象者に受診勧奨を実施する。	ア,コ	-	外部委託しない	0	血圧値、血糖値が受診勧奨値以上の者への指導および受診勧奨 <b>今年度実施しない理由：費用対効果が見込めない</b>	高リスク者、早期治療対象者の把握で受診勧奨をおこなう。	生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。 肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度 保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度 ＜重症化予防の対象者数の把握＞ 生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数(63名)存在する。 高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨値以上の者(69名)と、糖尿病で内服治療中でかつ血糖値が受診勧奨値以上の者(51名)が存在する。 ＜早期治療のための受診勧奨＞ 受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数(83名)存在する。 3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者(114名)が存在する。
受診勧奨実施者(【実績値】- 【目標値】令和5年度：30人)-													測定不能のため(アウトカムは設定されていません)				
1,2,5	新規	禁煙の推進	一部の事業所	男女	20～64	基準該当者	3	ク,シ	事業所敷地内就業時間中の全面禁煙から喫煙者を完全禁煙に移行させる。	ア,コ	-	外部委託しない	0	禁煙に対する啓蒙活動の継続 事業所ごとに喫煙者に禁煙セミナー実施(未定) <b>今年度実施しない理由：費用対効果が見込めない</b>	生活習慣病の源となる喫煙・受動喫煙に対する啓蒙活動、禁煙セミナーの実施で喫煙率を下げる。	40歳以上の喫煙率は、男性33%、女性17%合計で22%となり、前年とほぼ同じである。	
セミナー参加率(【実績値】- 【目標値】令和5年度：20%)参加者/喫煙者													喫煙率(【実績値】22% 【目標値】令和5年度：17%)-				
疾病予防	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	30～74	被保険者	3	ウ,サ,シ	会社の定期検診時にプラスして受診可。40,45,50,55歳の節目年齢は会社負担で実施(胃内視鏡・X線、PSA、眼底、腹部エコー)節目年齢以外は、個人負担1,000～2,000円で受診可。大腸がん検査(便潜血2回)は定期検診に組み込み済。	ア,コ	-	外部委託しない	16,800	健診機関を外部医療機関にすることで生活習慣病検診項目の受診(特に胃内視鏡)促進、さらに節目年齢対象者は個人負担なしで受診促進。	早期発見、早期治療により悪性新生物の「消化器」「呼吸器」の一人当たり医療費の抑制をはかる。	「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。 ・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。
受診者数(【実績値】1,227人 【目標値】令和5年度：1,300人)他健診と同時実施													事業が進み、基盤となる数値や事業の難易度が見えたときに改めて具体的な数値を設定(アウトカムは設定されていません)				
3	既存	人間ドック	全て	男女	30～74	加入者全員	1	ス	特定健診に代わる検査として位置づける。	ス	-	外部委託しない	4,550	定健、生活習慣病検診以外の検査を受診希望の対象者への補助を実施	定期健康診査、生活習慣病検診の充実で受診者は減少傾向にあるが、脳ドック、PET検査をはじめとする精密検査に対応するものとして実施	「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。 ・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。	



予算科目	注1)事業分類	新規既存	注2)事業名	対象者				注3)実施主体	注4)プロセス分類	実施方法	注5)ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標													アウトカム指標				
受診者(【実績値】85人 【目標値】令和5年度：80人)-													測定不可能のため (アウトカムは設定されていません)				
5	新	健康相談・指導	全て	男女	18～64	加入者全員	1	エ,ケ,ス	-	ア,ス	-	外部委託しない	1,100	・初年度は、トライアルとして実施。 ・年1回、定期健診案内に合わせて案内し食生活の見直し、生活習慣の改善に役立てる。	・生活習慣予防に低カロリー・甘味料等を安価に提供。 ・軽度の疾病の予防・治療に家庭用常備薬も安価に提供。	該当なし	
申込数(【実績値】 - 【目標値】令和5年度：40人)―													測定不可能のため (アウトカムは設定されていません)				
3	既存	インフルエンザ予防接種補助金	全て	男女	0～74	加入者全員	3	シ	・東京、大阪オフィス勤務の従業員は、就業時間内にオフィスにて実施。 ・その他医療機関での接種も可能。	ア,コ	-	外部委託しない	2,200	・11月～12月にかけて東京・大阪オフィスで予防接種日を設定し従業員に対して接種。 ・他医療機関でも、10月～1月未まで接種可能。被保険者2,000円、被扶養者1,000円補助。	罹患防止、罹患後の業務停滞等への影響を 考え被保険者中心に毎年1,100人の接種目標	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
接種率(【実績値】49% 【目標値】令和5年度：30%)分母数：年度末3月													効果の計測がむづかしいため (アウトカムは設定されていません)				
2,3,4	既存	りぼん健診	全て	女性	20～74	基準該当者	2	キ	被保険者：指定の提携医療機関で、定期健診と併せて受診可能。 被扶養者：個人負担3割 健保7割負担で補助を実施。	ア,コ	-	外部委託しない	4,250	・30歳以上の被保険者（被扶養者）の乳がん、子宮頸がん検診の受診強化。	加入者の65%を占める女性の「悪性新生物」の一人当たり医療費の低減	「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。 ・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。	
受診率(【実績値】33% 【目標値】令和5年度：80%)30歳以上の婦人科健診受診率向上（分母数：年度末3月）													- (アウトカムは設定されていません)				

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「\*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など） オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施  
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築  
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他

## STEP 4-1 事業報告

---

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

#### 加入者への意識づけ

- 2 ホームページ
- 3 医療費通知
- 4 後発医薬品の利用促進
- 5 健康増進事業（運動習慣）

#### 個別の事業

- 1 特定健康診査
- 2 特定保健指導
- 3 生活習慣病健診
- 4 人間ドック
- 5 健康相談・指導
- 6 インフルエンザ予防接種補助金
- 7 りぼん健診



## 【保健事業の基盤】 職場環境の整備

## 【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

2事業名	ホームページ								
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
分類									
注1)事業分類	計画	2,5-キ,5-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2,5-キ,5-ク		実績					
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	エ,キ	実施方法	計画	-	予算額	418千円		
	実績	エ,キ		実績	-				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	418千円		
	実績	ス		実績	-				
実施計画 (令和5年度)	定期的な健康情報の発信と制度改定等必要な情報をわかりやすく提供。								
振り返り	実施状況・時期		通年						
	成功・推進要因		健康保険組合制度の説明、各保健事業の窓口として利用。情報発信や補助金関係の申請書の閲覧が多い。						
	課題及び阻害要因		お知らせ機能を活用した情報発信等の工夫を継続。						
評価	4. 80%以上								
事業目標	タイムリーな有益情報の発信と、各種申請書等の分かりやすい掲載内容で閲覧数を上げる。								
アウトプット指標	更新頻度（【平成29年度末の実績値】6回【計画値/実績値】令和5年度：6回/8回 【達成度】133.3%）被保険者の意識付けと健康情報の提供。[-]								
アウトカム指標	アクセス数（【平成29年度末の実績値】8,500件【計画値/実績値】令和5年度：8,000件/10,341件 【達成度】129.3%）ホームページへのアクセス数アップ。[-]								
外部委託先	計画	外部委託しない							

外部委託元	実績	委託の有無	外部委託しない
-------	----	-------	---------

### 3 事業名 医療費通知

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

#### 分類

注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

#### 事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	年間1回（2月）	予算額	150千円
	実績	ス		実績	年間1回（2月）		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	55千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和5年度) 年間1回（2月）

振り返り	実施状況・時期	年1回、2月に実施
	成功・推進要因	確定申告利用者からの問い合わせ増。
	課題及び阻害要因	WEB化も検討中。

評価 5. 100%

#### 事業目標

- ・各自の医療費適正化の意識付けをする。
- ・確定申告の簡略化。

**アウトプット指標** 回数（【平成29年度末の実績値】4回【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回 【達成度】100.0%）-[-]

**アウトカム指標** 測定不能のため  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

4事業名	<b>後発医薬品の利用促進</b>								
健康課題との関連	後発医薬品の使用割合は他の健保よりやや高いが、厚労省が示す指標（80%）には届いていない。								
分類									
注1)事業分類	計画	2,7-イ,7-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2,7-イ,7-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 20～74 <b>対象者分類</b> 加入者全員							
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 20～74 <b>対象者分類</b> 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	キ,ク	実施方法	計画	後発医薬品差額通知を年1回（春頃）送付。 現システムを利用して対象者を抽出。			予算額	6千円
	実績	キ,ク		実績	後発医薬品差額通知を年1回（春頃）送付。 現システムを利用して対象者を抽出。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-			決算額	0千円
	実績	ス		実績	-				
実施計画 (令和5年度)	年1回（春頃）差額通知を発信しジェネリック使用促進。								

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	通年
	<b>成功・推進要因</b>	差額通知を送付。意識付けを行う。
	<b>課題及び阻害要因</b>	差額通知は実施済であるが、検証までは着手できていない。

評価	4. 80%以上
----	----------

### 事業目標

後発医薬品の使用率の向上

**アウトプット指標** 使用率（【平成29年度末の実績値】70%【計画値/実績値】令和5年度：80%/87% 【達成度】108.7%）-[-]

**アウトカム指標**

薬剤費の減少率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和5年度：10%/0% 【達成度】0.0%）歳出簿（支払）ベースで算出[R5年度：薬剤費で4%増加。利用率と比例しない。]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

### 5 事業名 健康増進事業（運動習慣）

健康課題との関連

生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。  
 肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度  
 保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度  
 <重症化予防の対象者数の把握>  
 生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数（63名）存在する。  
 高血圧症で内服治療中であつた血圧値が受診勧奨値以上の者（69名）と、糖尿病で内服治療中であつた血糖値が受診勧奨値以上の者（51名）が存在する。  
 <早期治療のための受診勧奨>  
 受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数（83名）存在する。  
 3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者（114名）が存在する。

### 分類

注1)事業分類	計画	1-ア,2,5-イ	実施主体	計画	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1-ア,2,5-イ		実績	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用				

共同事業 共同事業ではない

### 事業の内容

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 一部の事業所	<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 20～74	<b>対象者分類</b> 加入者全員
	実績	<b>対象事業所</b> 一部の事業所	<b>性別</b> 男女	<b>年齢</b> 20～74	<b>対象者分類</b> 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ア,ケ,シ	実施方法	計画	事業主・労組・健保組合と三位一体で主催する「ある活」を開催し、肥満、運動習慣の少ない対象者に参加を呼びかける。	予算額	860千円
	実績	ア,ケ,シ		実績	事業主・労組・健保組合と三位一体で主催する「ある活」を開催し、肥満、運動習慣の少ない対象者に参加を呼びかける。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ス	実施体制	計画	-	決算額	1,106千円
	実績	ア,ス		実績	-		

実施計画 (令和5年度) ・年2回（春・秋）開催。  
 ・達成者には事業主・労組・健保からインセンティブ。

振り返り

**実施状況・時期** 年に2回（春・秋）、事業主、労働組合と共同でアプリを利用した「ある活」イベントを開催。

**成功・推進要因** 運動習慣に重点を置き、全被保険者、被扶養者(19歳以上)に参加を促した。  
 工場勤務者、店舗販売員も参加。

**課題及び阻害要因** 被扶養者の参加促進へ、さらに注力したい。

評価 3. 60%以上

事業目標

- ・運動習慣の少ない対象者に日常生活を通じて運動の機会を与える。
- ・日頃接点の少ない販売員、工場勤務者も参加し一体感を保持し楽しみながら実施。

**アウトプット指標** 参加率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：45%/54% 【達成度】 120.0%） -[-]

**アウトカム指標** 成果測定不可能のため  
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

## 【個別の事業】

1	事業名	<b>特定健康診査</b>							
健康課題との関連	<p>生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。          肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度          保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度          &lt;重症化予防の対象者数の把握&gt;          生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数（63名）存在する。          高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨値以上の者（69名）と、糖尿病で内服治療中でかつ血糖値が受診勧奨値以上の者（51名）が存在する。          &lt;早期治療のための受診勧奨&gt;          受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数（83名）存在する。          3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者（114名）が存在する。</p>								
	分類								
注1)事業分類	計画	1-ア,4-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	1-ア,4-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 40～74 <b>対象者分類</b> 被扶養者							
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 40～74 <b>対象者分類</b> 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	集合契約によって医療機関の利便性向上を受診率アップにつなげる。			予算額	1,000千円
	実績	ス		実績	集合契約によって医療機関の利便性向上を受診率アップにつなげる。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-			決算額	437千円
	実績	ス		実績	-				
実施計画 (令和5年度)	指定の医療機関プラス受診券の発行による健診に今年からシフト。受診状況の推移とその後の受診勧奨で被扶養者の受診率アップ。								
振り返り	<b>実施状況・時期</b>		通年 会社の提携医療機関及び、近隣の集合契約健診機関を併用し幅広く対応						
	<b>成功・推進要因</b>		提携医療機関では、特定健康診査に加えて生活習慣病や婦人科検診を組み合わせた人間ドックの受診を可能とした事で、人間ドック受診者が増加						
	<b>課題及び阻害要因</b>		未受診者への受診勧奨						
評価	3. 60%以上								
事業目標									

特定健診受診率を70%まで上げる。

**アウトプット指標** 受診率（【平成29年度末の実績値】65%【計画値/実績値】令和5年度：65%/65.6% 【達成度】100.9%）被扶養者の健診実施の促進（受診率の向上）[-]

**アウトカム指標** 利用人数（【平成29年度末の実績値】178人【計画値/実績値】令和5年度：100人/101人 【達成度】101.0%）受診者の健康維持[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

2事業名	<b>特定保健指導</b>								
健康課題との関連	特定保健指導の対象者割合の減少率が低い 特定保健指導の実施率が低い								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-ア		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	エ,オ	実施方法	計画	被保険者：東阪健康管理室 保健師に委託（就業時間内に実施） 被扶養者：集合契約を利用し対象者に近隣医療機関での特定保健指導を促す。 事業主が導入したウェルネス健康管理システムの相互活用による特定保健指導の情報共有 特定保健指導対象者への健康冊子配布	予算額	1,133千円		
	実績	エ,オ		実績	被保険者：東阪健康管理室 保健師に委託（就業時間内に実施） 被扶養者：集合契約を利用し対象者に近隣医療機関での特定保健指導を促す。 事業主が導入したウェルネス健康管理システムの相互活用による特定保健指導の情報共有 特定保健指導対象者への健康冊子配布				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ	実施体制	計画	-	決算額	0千円		
	実績	ア,コ		実績	-				
実施計画 (令和5年度)	動機付け：30人 積極的：36人 合計：66人								



振り返り	<b>実施状況・時期</b>	通年 被保険者は、東京、大阪勤務の保健師に委託 被扶養者は実施なし
	<b>成功・推進要因</b>	会社の保健師4名による、オフィス勤務者への対面指導が効果的。健康診断後の結果説明時に併せて実施。
	<b>課題及び阻害要因</b>	被扶養者への保健指導が課題

評価 3. 60%以上

**事業目標**

特定保健指導実施率の向上と対象者の減少も目標とする。

**アウトプット指標** 実施人数（【平成29年度末の実績値】3人【計画値/実績値】令和5年度：66人/58人 【達成度】87.9%）事業主保健師との連携[-]

**アウトカム指標** 特定保健指導実施率（【平成29年度末の実績値】1.2%【計画値/実績値】令和5年度：63%/59% 【達成度】93.7%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

3 事業名 **生活習慣病健診**

健康課題との関連 「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。  
・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。

**分類**

注1)事業分類	計画	3-イ, 3-ウ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ, 3-ウ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 30～74 <b>対象者分類</b> 被保険者
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 30～74 <b>対象者分類</b> 被保険者

注2)プロセス分類	計画	ウ, サ, シ	実施方法	計画	会社の定期検診時にプラスして受診可。40,45,50,55歳の節目年齢は会社負担で実施（胃内視鏡・X線、PS A、眼底、腹部エコー）節目年齢以外は、個人負担1,000～2,000円で受診可。大腸がん検査（便潜血2回）は定期検診に組み込み済。	予算額	16,800千円
-----------	----	---------	------	----	--	-----	----------

	実績	ウ, サ, シ		実績	会社の定期検診時にプラスして受診可。40,45,50,55歳の節目年齢は会社負担で実施（胃内視鏡・X線、PS A、眼底、腹部エコー）節目年齢以外は、個人負担1,000～2,000円で受診可。大腸がん検査（便潜血2回）は定期検診に組み込み済。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア, コ	実施体制	計画	-	決算額	11,442 千円
	実績	ア, コ		実績	-		

実施計画 (令和5年度) 健診機関を外部医療機関にすることで生活習慣病検診項目の受診（特に胃内視鏡）促進、さらに節目年齢対象者は個人負担なしで受診促進。

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	通年
	<b>成功・推進要因</b>	胃カメラを含むがん検診の強化 事業主との健診費用分担が進み、受診率向上
	<b>課題及び阻害要因</b>	胃カメラ増加による、健診機関の日程確保が難航。及び、費用負担増。

評価 4. 80%以上

### 事業目標

早期発見、早期治療により悪性新生物の「消化器」「呼吸器」の一人当たり医療費の抑制をはかる。

**アウトプット指標** 受診者数（【平成29年度末の実績値】1,227人【計画値/実績値】令和5年度：1,300人/1,366人 【達成度】105.1%）他健診と同時実施[-]

**アウトカム指標** 事業が進み、基盤となる数値や事業の難易度が見えたときに改めて具体的な数値を設定 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

## 4 事業名 人間ドック

健康課題との関連 「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。  
・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。

### 分類

注1)事業分類	計画	3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

### 事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 加入者全員						
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 加入者全員						
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	特定健診に代わる検査として位置づける。		予算額	4,550千円
	実績	ス		実績	特定健診に代わる検査として位置づける。			
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-		決算額	2,680千円
	実績	ス		実績	-			

実施計画 (令和5年度)	定健、生活習慣病検診以外の検査を受診希望の対象者への補助を実施							
振り返り	<b>実施状況・時期</b>		通年 被保険者、被扶養者共に外部健診機関で受診 また、被扶養者は提携医療機関で特定健康診査+生活習慣病健診を人間ドック扱いで受診可能。					
	<b>成功・推進要因</b>		被扶養者の提携医療機関での、人間ドック受診を可能とした事で、受診者増加。					
	<b>課題及び阻害要因</b>		被扶養者、任意継続者への健診内容を充実させるための費用確保。					
評価	4. 80%以上							

事業目標								
定期健康診査、生活習慣病検診の充実で受診者は減少傾向にあるが、脳ドッグ、PET検査をはじめとする精密検査に対応するものとして実施								
<b>アウトプット指標</b>		受診者（【平成29年度末の実績値】85人【計画値/実績値】令和5年度：80人/80人 【達成度】100.0%）-[-]						
<b>アウトカム指標</b>		測定不可能のため (アウトカムは設定されていません)						

外部委託先	計画	外部委託しない						
	実績	委託の有無	外部委託しない					

5事業名	健康相談・指導								
健康課題との関連	該当なし								
分類									
注1)事業分類	計画	5-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規

	実績	5-ウ		実績	1. 健保組合			
共同事業	共同事業ではない							
事業の内容								
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～64 対象者分類 加入者全員						
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～64 対象者分類 加入者全員						
注2)プロセス分類	計画	エ,ケ,ス	実施方法	計画	-	予算額	1,100千円	
	実績	エ,ケ,ス		実績	-			
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ス	実施体制	計画	-	決算額	117千円	
	実績	ア,ス		実績	-			
実施計画 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度は、トライアルとして実施。</li> <li>・年1回、定期健診案内に合わせて案内し食生活の見直し、生活習慣の改善に役立てる。</li> </ul>							
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 年2回（春・秋） 被保険者、被扶養者に対して案内。 低カロリー甘味料に、家庭用常備薬を加えて安価に提供。</p> <p><b>成功・推進要因</b> 商品、送料等に補助を出し利用しやすい工夫。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 健康への意識変容へつなげたい。</p>							
評価	4. 80%以上							
事業目標								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣予防に低カロリー甘味料等を安価に提供。</li> <li>・軽度の疾病の予防・治療に家庭用常備薬も安価に提供。</li> </ul>								
<b>アウトプット指標</b> 申込数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：40人/70人 【達成度】 175.0%）—[-]								
<b>アウトカム指標</b> 測定不可能のため (アウトカムは設定されていません)								
外部委託先	計画	外部委託しない						
	実績	委託の有無	外部委託しない					

6事業名	インフルエンザ予防接種補助金								
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
分類									
注1)事業分類	計画	3-カ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-カ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	シ	実施方法	計画	・東京、大阪オフィス勤務の従業員は、就業時間内にオフィスにて実施。 ・その他医療機関での接種も可能。			予算額	2,200千円
	実績	シ		実績	・東京、大阪オフィス勤務の従業員は、就業時間内にオフィスにて実施。 ・その他医療機関での接種も可能。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ	実施体制	計画	-			決算額	1,262 千円
	実績	ア,コ		実績	-				
実施計画 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月～12月にかけ東京・大阪オフィスで予防接種日を設定し従業員に対して接種。</li> <li>・他医療機関でも、10月～1月末まで接種可能。被保険者2,000円、被扶養者1,000円補助。</li> </ul>								
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 10月～1月末までを接種可能期間とする。 被保険者は事業主、外部医療機関で接種可能。 被扶養者は、外部医療機関で摂取。</p> <p><b>成功・推進要因</b> 10月～12月に、東京・大阪オフィスで就業時間内に接種実施。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 被扶養者以外の家族が受診する場合がある。 チェック体制の強化が必要。</p>								
評価	2. 40%以上								
事業目標									

罹患防止、罹患後の業務停滞等への影響を考え被保険者中心に毎年1,100人の接種目標

**アウトプット指標** 接種率（【平成29年度末の実績値】49%【計画値/実績値】令和5年度：30%/31% 【達成度】103.3%）分母数：年度末3月[受診者数：被保険者587人 被扶養者89人  
年度末人数：被保険者1,575人 被扶養者581人 ]

**アウトカム指標** 効果の計測がむづかしいため  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

7	事業名	<b>りぼん健診</b>							
健康課題との関連	「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。 ・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。								
分類									
注1)事業分類	計画	2,3-ウ,4-キ	実施主体	計画	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2,3-ウ,4-キ		実績	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 女性 <b>年齢</b> 20～74 <b>対象者分類</b> 基準該当者							
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 女性 <b>年齢</b> 20～74 <b>対象者分類</b> 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	キ	実施方法	計画	被保険者：指定の提携医療機関で、定期健診と併せて受診可能。 被扶養者：個人負担3割 健保7割負担で補助を実施。	予算額	4,250千円		
	実績	キ		実績	被保険者：指定の提携医療機関で、定期健診と併せて受診可能。 被扶養者：個人負担3割 健保7割負担で補助を実施。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ	実施体制	計画	-	決算額	3,196千円		
	実績	ア,コ		実績	-				
実施計画 (令和5年度)	・30歳以上の被保険者（被扶養者）の乳がん、子宮頸がん検診の受診強化。								

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	通年 被扶養者、任意継続者、30歳以下の被保険者の乳がん検診の一部を健康保険組合が負担。
	<b>成功・推進要因</b>	30歳以上は、会社負担で受診が必須。 40歳代は、子宮頸癌検診に加え超音波、乳腺エコー、マンモグラフィ検査が会社負担であり受診者は増加傾向。
	<b>課題及び阻害要因</b>	今後は、若年層への対応も検討。
評価	3. 60%以上	
<b>事業目標</b>		
加入者の65%を占める女性の「悪性新生物」の一人当たり医療費の低減		
<b>アウトプット指標</b>	受診率（【平成29年度末の実績値】33%【計画値/実績値】令和5年度：80%/73% 【達成度】91.3%）30歳以上の婦人科健診受診率向上（分母数：年度末3月）[受診者数：776人 年度末人数：1,067人 ]	
<b>アウトカム指標</b>	- (アウトカムは設定されていません)	
外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など）  
オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）  
ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他
- 注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築  
キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）  
シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他

## STEP 4-2 期末評価

### 事業全体の目的と目標の確認

事業全体の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪性新生物の早期発見、早期治療で一人当たり医療費低減を目的とする。</li> <li>生活習慣病の重症化予防、早期治療の受診勧奨で一人当たり医療費の削減。</li> <li>比較的高い男性の肥満割合の低減を目指す。</li> </ul>
事業全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者の健診を強化・充実し疾病の早期発見、早期治療を目指す。</li> <li>被保険者（被扶養者）の健康保持増進と医療費の削減に繋げる。</li> <li>共同事業及び役割分担を明確化しコラボヘルスを定着化させる。</li> </ul>

### 健康課題ごとの振り返り

1	特定保健指導の対象者割合の減少率が低い 特定保健指導の実施率が低い								
対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	・被扶養者及び、全国に点在する販売員に対するアプローチ不足である。						
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B								
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	特定保健指導	実施人数	95.0%	121.5%	87.9%	特定保健指導実施率	96.2%	85.1%	93.7%
2	「新生物」「呼吸器系疾患」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順で医療費が高い。 ・悪性新生物の一人当たり医療費を見ると、「消化器」「呼吸器・胸腔内臓器」「乳房」が他の健保より高い。								
対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	・りぼん健診は、受診率73.0%で目標通り。 定期健診と併せて受診可能とし、40歳代は全額事業主負担等の工夫で目標値維持。						
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	A		・人間ドックは、目標値に対し100%とし、充実した内容で受診する者が増加傾向。 一人当たりの医療費は、ほぼ横ばい。						
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	生活習慣病健診	受診者数	114.7%	102.7%	105.1%	設定なし	-	-	-
2	人間ドック	受診者	226.0%	216.0%	100.0%	設定なし	-	-	-
3	りぼん健診	受診率	100.0%	105.7%	91.3%	一人当たり医療費の低減	114.4%	-	-



3	生活習慣病上位3疾病「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の一人当たり医療費が全組合集計よりもかなり高い。 肥満の割合は男性58%と他の健保と比較すると10%高い。女性は他健保組合と同程度 保健指導基準値以上が男性76%と他の健保と比較すると6%高い。女性は他健保組合と同程度 <重症化予防の対象者数の把握> 生活習慣のレセプトがあるもので、受診勧奨値以上のものが多数（63名）存在する。 高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨値以上の者（69名）と、糖尿病で内服治療中でかつ血糖値が受診勧奨値以上の者（51名）が存在する。 <早期治療のための受診勧奨> 受診勧奨値以上で生活習慣病に関するレセプトがない者が多数（83名）存在する。 3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧値が受診勧奨基準値以上の者（114名）が存在する。
---	---

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病は、目標値に対し105.1%で目標値よりやや高い。</li> <li>提携医療機関の充実により、受診者は増加傾向にある。</li> </ul>
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	健康教室の開催	参加者	0%	実施せず	実施せず	設定なし	-	実施せず	実施せず
2	健康増進事業（運動習慣）	参加者	-	-	-	設定なし	-	-	-
		参加率	107.0%	109.1%	120.0%				
3	特定健康診査	受診率	91.1%	89.7%	100.9%	利用人数	61.1%	54.4%	101.0%
4	要医療の者への受診勧奨・糖尿病等の重症化予防	受診勧奨実施者	実施せず	実施せず	実施せず	設定なし	実施せず	実施せず	実施せず

4	40歳以上の喫煙率は、男性33%、女性17% 合計で22%となり、前年とほぼ同じである。
---	--

対策の達成度 (アウトプットの評価)	A	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教室については、開催予定なしであったが、令和5年度は開催できた。3工場すべてで実施し、参加率95%であった。</li> <li>健康増進事業として、常備薬及び健康食品の斡旋販売を実施し、健康意識向上になった。また、ICTを使用した運動習慣としてkencomによるある活も開催。</li> <li>重症化予防では、事業主の保健師による健診結果返却時の説明で受診勧奨を行う。要治療者に対して389名（約29%）に受診勧奨を行った。</li> </ul>
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	禁煙の推進	セミナー参加率	実施せず	実施せず	実施せず	喫煙率	実施せず	実施せず	実施せず

5	後発医薬品の使用割合は他の健保よりやや高いが、厚労省が示す指標（80%）には届いていない。
---	---

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年1度のジェネリック差額通知の発送を粘り強く継続する事で、使用率維持。</li> </ul>
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	後発医薬品の利用促進	使用率	107.4%	107.4%	108.7%	薬剤費の減少率	560.0%	226.0%	0.0%

## 健康課題と紐付いていない事業一覧

該当なし（これまでの経緯で実施する事業）									
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	機関紙発行	発刊回数	実施せず	実施せず	実施せず	設定なし	実施せず	実施せず	実施せず
2	ホームページ	更新頻度	100.0%	400.0%	133.3%	アクセス数	76.5%	133.9%	129.3%
3	医療費通知	回数	100.0%	100.0%	100.0%	設定なし	-	-	-
4	インフルエンザ予防接種補助金	接種者	72.7%	-	-	設定なし	-	-	-
		接種率	-	80.0%	103.3%				

該当なし									
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	健康相談・指導	申込数	0.0%	実施せず	175.0%	設定なし	-	実施せず	-

## 第2期のデータヘルス計画への取り組みに対する振り返り

No	設問	回答		評価理由（成功要因や阻害要因など）
		← 全くできなかった	よくできた ▶	
1	STEP1-3基本分析において、自組合集団としての健康状態を客観的に可視化できたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		医療費という大枠でしか捉えていなかったが、疾病別、性別、年齢別等いろいろな切り口から分析でき、自健保の現状が浮き彫りになった。
2	STEP2健康課題の抽出において、適切に健康課題を抽出することができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		女性が多く、婦人科対策への重要性がより明確になり、健康経営を目指す事業主の理解も得られ、次期に向けての対策の参考になった。ただ、生活習慣においては課題も残る。
3	STEP2健康課題の抽出において、優先すべき健康課題や対策の方向性を的確に定めることができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		上記のとおり。
4	STEP3 保健事業の実施計画において、事業全体の目的や目標を適切に掲げることができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		見える化することにより、より優先課題が明確になった。次期への目標の指標になった。
5	STEP3 保健事業の実施計画において、「保健事業の基盤」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？	○ — ● — ○ — ○ — ○		費用対効果や財政面の課題もあり、対応できる保健事業が限定的であった。
6	STEP3 保健事業の実施計画において、「個別の事業」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？	○ — ● — ○ — ○ — ○		上記のとおり。
7	STEP3 保健事業の実施計画において、保健事業の評価指標を適切に設定することができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		できる範囲で適切に設定した。
8	STEP4-1 事業報告において、年次の事業進捗やアウトプット、アウトカムを評価することができたか？	○ — ● — ○ — ○ — ○		残念ながら、明確な数値で示せるアウトプット、アウトカムが出来ておらず、次期への課題となった。
9	STEP4-1 事業報告を理事会や組合会での報告に活用し、次年度の事業計画に活用することができたか？	○ — ● — ○ — ○ — ○		組合会で報告はしているが、詳細な論議ができていない。次期は、報告の方法も検討課題である。
10	保健事業を実施するにあたって事業主とのコラボヘルスの体制をどの程度構築することができたか？	○ — ○ — ○ — ● — ○		事業主、事業主所属の保健師との共有や共同での実施はできた。また、健診強化の取り組みや、保健師による保健指導も実施し、全従業員への結果フィードバック時の説明もできている。併せて事業主、労働組合、健保組合で三位一体でのウォーキングイベントも実施している。
11	加入者のヘルスリテラシー向上に向けた取り組みを行うことができたか？	○ — ○ — ○ — ● — ○		健康教室等の開催にはおよばなかったが、ウォーキングイベントでの運動習慣に加え、家庭用常備薬、健康食品の斡旋販売を行い食生活改善への取り組みにも着手した。

## 事業全体の達成状況に関する総括（自由記述）

-